

ガスヒートポンプエアコン

## 納入仕様書

T形 リニューアル専用機  
Wマルチ リニューアル専用機  
室外ユニット

製品名

御提出先

御納入先

年 月 日 提出

受領印	/	/	/

# 仕様

## 標準機

品番				U-GH224T1DR					
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2			
	幅	mm	1,400						
	奥行	mm	1,000(+80)						
性能	質量	kg	510		ガス消費量	定格冷房標準	kW	20.4	
	定格冷房標準能力	kW	22.4			中間冷房標準	kW	8.1	
	中間冷房標準能力	kW	12.3			中間冷房中温	kW	7.9	
	中間冷房中温能力	kW	13.1			最小冷房中温	kW	—	
	最小冷房中温能力	kW	—			定格暖房標準	kW	19.0	
	定格暖房標準能力	kW	25.0			中間暖房標準	kW	7.7	
	中間暖房標準能力	kW	13.1			最小暖房標準	kW	—	
	最小暖房標準能力	kW	—			期間成績係数 APFp : 2015		1.22	
	最大暖房低温能力	kW	26.5		期間成績係数 APF : 2006		1.62		
	最大暖房極低温能力	kW	26.0		冷暖平均定格 COPp		1.14		
	定格電圧/相数		三相200V	单相200V※		設計圧力	高圧	MPa	3.50
定格周波数	Hz	50/60		設計圧力	低圧	MPa	2.50		
電気特性	運転電流	定格冷房標準	A	1.7/1.7	3.1/3.2	エンジン	排気量	L	0.952
		定格暖房標準	A	1.1/1.0	2.0/1.8		潤滑油	種類	パナソニック純正
	消費電力	定格冷房標準	kW	0.55/0.55	0.55/0.55	封入量	L	30	
		中間冷房標準	kW	0.55/0.55	0.55/0.55	スターターモーター	DC12V×1.3kW		
		中間冷房中温	kW	0.30/0.30	0.30/0.30	スターター方式	AC/DC変換式DCスターター		
		最小冷房中温	kW	—	—	エンジン冷却水	種別×封入量	L	パナソニック純正×14.5
		定格暖房標準	kW	0.30/0.30	0.30/0.30		濃度・凍結温度	50V/V%・-35°C	
		中間暖房標準	kW	0.30/0.30	0.30/0.30	冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16	
	最小暖房標準	kW	—	—	原動機定格出力	kW	5.0		
	力率	定格冷房標準	%	94/96	88/87	冷媒×封入量	kg	HFC[R410A]×8.0	
定格暖房標準		%	86/91	76/82	指定冷凍機油		HP-9		
始動電流	A	25/25		冷凍機油封入量	L	3.0			
運転音	SPL (静音モード*)	dB(A)	57(54)		クランクケースヒーター	W	20		
	PWL (静音モード*)	dB(A)	76(73)		台数(ローター数)		1台(1ローター)		
送風装置	送風機形式		プロペラファン×1		空気吸込口		正面・背面・側面		
	送風機定格出力	kW	0.70×1		空気吹出口		上面		
風量	m³/min	200		配管関係	冷媒ガス管	mm	φ19.05(ろう付)		
ドレン用ヒーター	W	40			冷媒液管	mm	φ9.52(ろう付)		
塗装色(マンセル記号)		シルキーシート(1Y8.5/0.5)			燃料ガス配管口		R3/4(オネジ)		
臭気触媒	触媒の種類(貴金属)	酸化触媒(Pt)		排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)			

### ＜注記＞

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

\*暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・ 運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・ 期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

※ 单相200V仕様は、单相キット(別売品)の取付が必要となります。

# 仕様

## 標準機

品番				U-GH280T1DR						
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2				
	幅	mm	1,400							
	奥行	mm	1,000(+80)							
性能	質量	kg	525		ガス消費量	定格冷房標準	kW	31.6		
	定格冷房標準能力	kW	28.0			中間冷房標準	kW	7.7		
	中間冷房標準能力	kW	13.3			中間冷房中温	kW	7.4		
	中間冷房中温能力	kW	13.4			最小冷房中温	kW	—		
	最小冷房中温能力	kW	—			定格暖房標準	kW	25.9		
	定格暖房標準能力	kW	31.5			中間暖房標準	kW	8.6		
	中間暖房標準能力	kW	14.5			最小暖房標準	kW	—		
	最大暖房低温能力	kW	33.5		期間成績係数 APFp : 2015		1.30			
	最大暖房極低温能力	kW	26.9		期間成績係数 APF : 2006		1.70			
	定格電圧/相数		三相200V	单相200V※		冷暖平均定格 COPp		1.00		
	定格周波数	Hz	50/60		設計圧力	高圧	MPa	3.50		
電気特性	運転電流	定格冷房標準	A	2.0/2.0	3.5/3.6	エンジン	排気量	L	0.952	
		定格暖房標準	A	1.4/1.4	2.6/2.6		潤滑油	種類	パナソニック純正	
	消費電力	定格冷房標準	kW	0.65/0.65	0.65/0.65	封入量	L	30		
		中間冷房標準	kW	0.65/0.65	0.65/0.65	スターターモーター	DC12V×1.3kW			
		中間冷房中温	kW	0.25/0.25	0.25/0.25	スターター方式	AC/DC変換式DCスターター			
		最小冷房中温	kW	—	—	エンジン	種別×封入量	L	パナソニック純正×14.5	
		定格暖房標準	kW	0.45/0.45	0.45/0.45	冷却水	濃度・凍結温度	50V/V%・-35°C		
		中間暖房標準	kW	0.30/0.30	0.30/0.30	冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16		
	力率	定格冷房標準	%	96/96	92/89	原動機定格出力	kW	6.2		
		定格暖房標準	%	92/95	88/85	冷媒×封入量	kg	HFC[R410A]×9.0		
始動電流	A	25/25		圧縮機	指定冷凍機油	HP-9				
運転音	SPL (静音モード*)	dB(A)	59(57)		冷凍機油封入量	L	3.0			
	PWL (静音モード*)	dB(A)	79(76)		クランクケースヒーター	W	20			
送風装置	送風機形式	プロペラファン×1			台数(ローター数)	1台(1ローター)				
	送風機定格出力	kW	0.70×1		空気吸込口	正面・背面・側面				
风量	m³/min	210		空気吹出口	上面					
ドレン用ヒーター	W	40		配管関係	冷媒ガス管	mm	φ22.22(ろう付)			
塗装色(マンセル記号)	シルキーシート(1Y8.5/0.5)				冷媒液管	mm	φ9.52(ろう付)			
臭気触媒	触媒の種類(貴金属)	酸化触媒(Pt)			燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)				
				排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)				

### 《注記》

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

・暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・ 運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・ 期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

※ 单相200V仕様は、单相キット(別売品)の取付が必要となります。

# 仕様

## 標準機

品番				U-GH355T1DR						
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2				
	幅	mm	1,400							
	奥行	mm	1,000(+80)							
性能	質量	kg	525		ガス消費量	定格冷房標準	kW	32.0		
	定格冷房標準能力	kW	35.5			中間冷房標準	kW	8.0		
	中間冷房標準能力	kW	16.3			中間冷房中温	kW	7.4		
	中間冷房中温能力	kW	16.6			最小冷房中温	kW	—		
	最小冷房中温能力	kW	—			定格暖房標準	kW	28.9		
	定格暖房標準能力	kW	40.0			中間暖房標準	kW	9.5		
	中間暖房標準能力	kW	18.4			最小暖房標準	kW	—		
	最大暖房低温能力	kW	37.5		期間成績係数 APFp : 2015		1.53			
	最大暖房極低温能力	kW	26.9		期間成績係数 APF : 2006		1.99			
	定格電圧/相数		三相200V	单相200V※		冷暖平均定格 COPp		1.19		
	定格周波数	Hz	50/60		設計圧力	高圧	MPa	3.50		
電気特性	運転電流	定格冷房標準	A	2.0/2.0	3.5/3.6	エンジン	排気量	L	0.952	
		定格暖房標準	A	1.4/1.4	2.6/2.6		潤滑油	種類	パナソニック純正	
	消費電力	定格冷房標準	kW	0.65/0.65	0.65/0.65	封入量	L	30		
		中間冷房標準	kW	0.65/0.65	0.65/0.65	スターターモーター	DC12V×1.3kW			
		中間冷房中温	kW	0.30/0.30	0.30/0.30	スターター方式	AC/DC変換式DCスターター			
		最小冷房中温	kW	—	—	エンジン	種別×封入量	L	パナソニック純正×14.5	
		定格暖房標準	kW	0.45/0.45	0.45/0.45	冷却水	濃度・凍結温度	50V/V%・-35°C		
	力率	中間暖房標準	kW	0.35/0.35	0.35/0.35	冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16		
		最小暖房標準	kW	—	—	原動機定格出力	kW	7.9		
		定格冷房標準	%	96/96	92/89	冷媒×封入量	kg	HFC[R410A]×10.5		
始動電流	A	25/25		圧縮機	指定冷凍機油	HP-9				
運転音	SPL (静音モード*)	dB(A)	58(56)		冷凍機油封入量	L	3.0			
	PWL (静音モード*)	dB(A)	78(75)		クランクケースヒーター	W	20			
送風装置	送風機形式	プロペラファン×1			台数(ローター数)	1台(1ローター)				
	送風機定格出力	kW	0.70×1		空気吸込口	正面・背面・側面				
風量	m³/min	210		空気吹出口	上面					
ドレン用ヒーター	W	40		冷媒ガス管	mm	φ25.4(ろう付)				
塗装色(マンセル記号)	シルキーシート(1Y8.5/0.5)			冷媒液管	mm	φ12.7(ろう付)				
臭気触媒	触媒の種類(貴金属)	酸化触媒(Pt)		燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)					
				配管関係	排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)			

### ＜注記＞

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

・暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。

・運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されています。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されています。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

※ 单相200V仕様は、单相キット(別売品)の取付が必要となります。

# 仕様

## 標準機

品番				U-GH450T1DR						
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2				
	幅	mm	1,650							
	奥行	mm	1,000(+80)							
性能	質量	kg	715		ガス消費量	定格冷房標準	kW	38.5		
	定格冷房標準能力	kW	45.0			中間冷房標準	kW	10.3		
	中間冷房標準能力	kW	20.3			中間冷房中温	kW	8.4		
	中間冷房中温能力	kW	20.5			最小冷房中温	kW	7.2		
	最小冷房中温能力	kW	13.3			定格暖房標準	kW	37.3		
	定格暖房標準能力	kW	50.0			中間暖房標準	kW	11.4		
	中間暖房標準能力	kW	23.0			最小暖房標準	kW	10.1		
	最小暖房標準能力	kW	17.3		期間成績係数 APFp : 2015		1.85			
	最大暖房低温能力	kW	53.0		期間成績係数 APF : 2006		1.95			
	最大暖房極低温能力	kW	42.4		冷暖平均定格 COPp		1.18			
	定格電圧/相数		三相200V	单相200V※		設計圧力	高圧	MPa	3.50	
定格周波数	Hz	50/60		低圧	MPa	2.50				
電気特性	運転電流	定格冷房標準	A	3.4/3.4	6.3/6.2	エンジン	排気量	L	2.488	
		定格暖房標準	A	1.6/1.6	3.1/3.2	潤滑油	種類	パナソニック純正		
	消費電力	定格冷房標準	kW	1.16/1.16	1.16/1.16	封入量	L	40		
		中間冷房標準	kW	1.15/1.15	1.15/1.15	スターターモーター	DC12V×2.0kW			
		中間冷房中温	kW	0.33/0.33	0.33/0.33	スターター方式	AC/DC変換式DCスターター			
		最小冷房中温	kW	0.24/0.24	0.24/0.24	エンジン	種別×封入量	L	パナソニック純正×21	
		定格暖房標準	kW	0.55/0.55	0.55/0.55	冷却水	濃度・凍結温度	50V/V%・-35°C		
		中間暖房標準	kW	0.33/0.33	0.33/0.33	冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16		
	力率	定格冷房標準	%	98/98	92/94	原動機定格出力	kW	10.0		
		定格暖房標準	%	97/99	89/87	冷媒×封入量	kg	HFC[R410A]×10.5		
始動電流	A	30/30		圧縮機	指定冷凍機油	HP-9				
運転音	SPL (静音モード*)	dB(A)	60(58)		冷凍機油封入量	L	4.4			
	PWL (静音モード*)	dB(A)	80(77)		クランクケースヒーター	W	30			
送風装置	送風機形式	プロペラファン×2			台数(ローター数)	1台(2ローター)				
	送風機定格出力	kW	0.70×2		空気吸込口	正面・背面・側面				
風量	m³/min	370		空気吹出口	上面					
ドレン用ヒーター	W	40		冷媒ガス管	mm	φ28.58(ろう付)				
塗装色(マンセル記号)	シルキーシート(1Y8.5/0.5)			冷媒液管	mm	φ12.7(ろう付)				
臭気触媒	触媒の種類(貴金属)	酸化触媒(Pt)			燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)				
				配管関係	排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)			

### ＜注記＞

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

・暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・ 運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・ 期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

※ 单相200V仕様は、单相キット(別売品)の取付が必要となります。

# 仕様

## 標準機

品番				U-GH560T1DR							
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2					
	幅	mm	1,650								
	奥行	mm	1,000(+80)								
性能	質量	kg	715		ガス消費量	定格冷房標準	kW	45.4			
	定格冷房標準能力	kW	56.0			中間冷房標準	kW	12.2			
	中間冷房標準能力	kW	26.5			中間冷房中温	kW	9.5			
	中間冷房中温能力	kW	26.8			最小冷房中温	kW	7.3			
	最小冷房中温能力	kW	14.1			定格暖房標準	kW	43.7			
	定格暖房標準能力	kW	63.0			中間暖房標準	kW	13.8			
	中間暖房標準能力	kW	28.4			最小暖房標準	kW	10.0			
	最小暖房標準能力	kW	17.6		期間成績係数 APFp : 2015		1.97				
	最大暖房低温能力	kW	67.0		期間成績係数 APF : 2006		2.11				
	最大暖房極低温能力	kW	53.6		冷暖平均定格 COPp		1.26				
	定格電圧/相数		三相200V	单相200V※		設計圧力	高圧	MPa	3.50		
定格周波数	Hz	50/60		低圧	MPa	2.50					
電気特性	運転電流	定格冷房標準	A	3.7/3.6	6.8/6.6		エンジン	排気量	L	2.488	
		定格暖房標準	A	2.2/2.2	4.1/4.1		潤滑油	種類	パナソニック純正		
	消費電力	定格冷房標準	kW	1.24/1.24	1.24/1.24		封入量	L	40		
		中間冷房標準	kW	1.20/1.20	1.20/1.20		スターターモーター	DC12V×2.0kW			
		中間冷房中温	kW	0.51/0.51	0.51/0.51		スターター方式	AC/DC変換式DCスターター			
		最小冷房中温	kW	0.28/0.28	0.28/0.28		エンジン	種別×封入量	L	パナソニック純正×21	
		定格暖房標準	kW	0.74/0.74	0.74/0.74		冷却水	濃度・凍結温度	50V/V%・-35°C		
		中間暖房標準	kW	0.50/0.50	0.50/0.50		冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16		
	力率	定格冷房標準	%	98/98	92/94		原動機定格出力	kW	12.4		
		定格暖房標準	%	98/99	91/90		冷媒×封入量	kg	HFC[R410A]×11.5		
始動電流	A	30/30		圧縮機	指定冷凍機油	HP-9					
運転音	SPL (静音モード*)	dB(A)	59(57)		冷凍機油封入量	L	4.4				
	PWL (静音モード*)	dB(A)	79(77)		クランクケースヒーター	W	30				
送風装置	送風機形式	プロペラファン×2			台数(ローター数)	1台(2ローター)					
	送風機定格出力	kW	0.70×2		空気吸込口	正面・背面・側面					
风量	m³/min	360		空気吹出口	上面						
ドレン用ヒーター	W	40		配管関係	冷媒ガス管	mm	φ28.58(ろう付)				
塗装色(マンセル記号)	シルキーシート(1Y8.5/0.5)				冷媒液管	mm	φ15.88(ろう付)				
	臭気触媒	触媒の種類(貴金属)	酸化触媒(Pt)		燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)					
				排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)					

### 《注記》

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

・暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・ 運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・ 期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

※ 单相200V仕様は、单相キット(別売品)の取付が必要となります。

# 仕様

## 標準機

品番				U-GH710T1DR					
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2			
	幅	mm	1,650						
	奥行	mm	1,000(+80)						
性能	質量	kg	755		ガス消費量	定格冷房標準	kW	67.0	
	定格冷房標準能力	kW	71.0			中間冷房標準	kW	14.8	
	中間冷房標準能力	kW	32.2			中間冷房中温	kW	11.9	
	中間冷房中温能力	kW	32.5			最小冷房中温	kW	7.6	
	最小冷房中温能力	kW	18.0			定格暖房標準	kW	60.0	
	定格暖房標準能力	kW	80.0			中間暖房標準	kW	19.4	
	中間暖房標準能力	kW	37.3			最小暖房標準	kW	10.9	
	最小暖房標準能力	kW	20.0		期間成績係数 APFp : 2015		1.97		
	最大暖房低温能力	kW	68.0		期間成績係数 APF : 2006		2.04		
	最大暖房極低温能力	kW	54.4		冷暖平均定格 COPp		1.13		
	定格電圧/相数		三相200V	单相200V※		設計圧力	高圧	MPa	3.50
定格周波数	Hz	50/60		設計圧力	低圧	MPa	2.50		
電気特性	運転電流	定格冷房標準	A	4.8/4.8	エンジン	排気量	L	2,488	
		定格暖房標準	A	2.7/2.7		種類	パナソニック純正		
	消費電力	定格冷房標準	kW	1.57/1.57	封入量	L	40		
		中間冷房標準	kW	1.45/1.45	スターターモーター	DC12V×2.0kW			
		中間冷房中温	kW	0.48/0.48	スターター方式	AC/DC変換式DCスターター			
		最小冷房中温	kW	0.39/0.39	エンジン	種別×封入量	L	パナソニック純正×25	
		定格暖房標準	kW	0.88/0.88	冷却水	濃度・凍結温度	50V/V%・-35℃		
		中間暖房標準	kW	0.39/0.39	冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16		
	力率	定格冷房標準	%	95/95	原動機定格出力	kW	15.7		
		定格暖房標準	%	93/94	冷媒×封入量	kg	HFC[R410A]×11.5		
始動電流	A	30/30		圧縮機	指定冷凍機油	HP-9			
運転音	SPL (静音モード*)	dB(A)	63(61)		冷凍機油封入量	L	4.4		
	PWL (静音モード*)	dB(A)	83(80)		クランクケースヒーター	W	30		
送風装置	送風機形式	プロペラファン×2			台数(ローター数)	1台(2ローター)			
	送風機定格出力	kW	0.70×2		空気吸込口	正面・背面・側面			
风量	m³/min	400		空気吹出口	上面				
ドレン用ヒーター	W	40		配管関係	冷媒ガス管	mm	φ28.58(ろう付)		
塗装色(マンセル記号)	シルキーシート(1Y8.5/0.5)				冷媒液管	mm	φ15.88(ろう付)		
臭気触媒	触媒の種類(貴金属)	酸化触媒(Pt)			燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)			
				排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)			

### 《注記》

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

・暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・ 運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・ 期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

※ 单相200V仕様は、单相キット(別売品)の取付が必要となります。

# 仕様

## 標準機

品番				U-GH710T2DR						
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2				
	幅	mm	1,650							
	奥行	mm	1,000(+80)							
性能	質量	kg	755		ガス消費量	定格冷房標準	kW	67.0		
	定格冷房標準能力	kW	71.0			中間冷房標準	kW	14.8		
	中間冷房標準能力	kW	32.2			中間冷房中温	kW	11.9		
	中間冷房中温能力	kW	32.5			最小冷房中温	kW	7.6		
	最小冷房中温能力	kW	18.0			定格暖房標準	kW	60.0		
	定格暖房標準能力	kW	80.0			中間暖房標準	kW	19.4		
	中間暖房標準能力	kW	37.3			最小暖房標準	kW	10.9		
	最小暖房標準能力	kW	20.0			期間成績係数 APFp : 2015		1.97		
	最大暖房低温能力	kW	78.0		期間成績係数 APF : 2006		2.04			
	最大暖房極低温能力	kW	64.0		冷暖平均定格 COPp		1.13			
	定格電圧/相数		三相200V	单相200V※		設計圧力	高圧	MPa	3.50	
定格周波数	Hz	50/60		設計圧力	低圧	MPa	2.50			
電気特性	運転電流	定格冷房標準	A	4.8/4.8	8.5/8.4	エンジン	排気量	L	2,488	
		定格暖房標準	A	2.7/2.7	4.7/4.8		潤滑油	種類	パナソニック純正	
	消費電力	定格冷房標準	kW	1.57/1.57	1.57/1.57	封入量	L	40		
		中間冷房標準	kW	1.45/1.45	1.45/1.45	スターターモーター	DC12V×2.0kW			
		中間冷房中温	kW	0.48/0.48	0.48/0.48	スターター方式	AC/DC変換式DCスターター			
		最小冷房中温	kW	0.39/0.39	0.39/0.39	エンジン	種別×封入量	L	パナソニック純正×25	
		定格暖房標準	kW	0.88/0.88	0.88/0.88	冷却水	濃度・凍結温度	50V/V%・-35°C		
		中間暖房標準	kW	0.39/0.39	0.39/0.39	冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16		
	力率	定格冷房標準	%	95/95	92/94	原動機定格出力	kW	15.7		
		定格暖房標準	%	93/94	93/92	冷媒×封入量	kg	HFC[R410A]×11.5		
始動電流	A	30/30		圧縮機	指定冷凍機油	HP-9				
運転音	SPL (静音モード)	dB(A)	63(61)		冷凍機油封入量	L	4.4			
	PWL (静音モード)	dB(A)	83(80)		クランクケースヒーター	W	30			
送風装置	送風機形式	プロペラファン×2			台数(ローター数)	1台(2ローター)				
	送風機定格出力	kW	0.70×2		空気吸込口	正面・背面・側面				
风量	m <sup>3</sup> /min	400		空気吹出口	上面					
ドレン用ヒーター	W	40		配管関係	冷媒ガス管	mm	φ28.58(ろう付)			
塗装色(マンセル記号)		シルキーシート(1Y8.5/0.5)			冷媒液管	mm	φ15.88(ろう付)			
臭気触媒	触媒の種類(貴金属)	酸化触媒(Pt)			燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)				
				排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)				

### ＜注記＞

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

・暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・ 運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・ 期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

※ 单相200V仕様は、单相キット(別売品)の取付が必要となります。



# 仕様

## 標準機

品番				U-GH850T1DR					
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2			
	幅	mm	2,026						
	奥行	mm	1,000(+80)						
性能	質量	kg	840		ガス消費量	定格冷房標準	kW	81.4	
	定格冷房標準能力	kW	85.0			中間冷房標準	kW	19.1	
	中間冷房標準能力	kW	38.3			中間冷房中温	kW	14.9	
	中間冷房中温能力	kW	38.4			最小冷房中温	kW	11.4	
	最小冷房中温能力	kW	24.5			定格暖房標準	kW	72.6	
	定格暖房標準能力	kW	95.0			中間暖房標準	kW	21.6	
	中間暖房標準能力	kW	44.5			最小暖房標準	kW	13.1	
	最小暖房標準能力	kW	23.8		期間成績係数 APFp : 2015		1.91		
	最大暖房低温能力	kW	80.0		期間成績係数 APF : 2006		1.95		
	最大暖房極低温能力	kW	64.6		冷暖平均定格 COPp		1.10		
定格電圧/相数		三相200V	单相200V※		設計圧力	高圧	MPa	3.50	
定格周波数	Hz	50/60		低圧	MPa	2.50			
電気特性	運転電流	定格冷房標準	A	5.3/5.3	エンジン	排気量	L	2.488	
		定格暖房標準	A	5.3/5.3		種類	パナソニック純正		
	消費電力	定格冷房標準	kW	1.80/1.80	封入量	L	46		
		中間冷房標準	kW	1.79/1.79	スターターモーター	DC12V×2.0kW			
		中間冷房中温	kW	0.70/0.70	スターター方式	AC/DC変換式DCスターター			
		最小冷房中温	kW	0.45/0.45	エンジン冷却水	種別×封入量	L	パナソニック純正×27	
		定格暖房標準	kW	1.80/1.80	濃度・凍結温度	50V/V%・-35°C			
		中間暖房標準	kW	0.76/0.76	冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16		
	力率	定格冷房標準	%	98/98	原動機定格出力	kW	18.8		
		定格暖房標準	%	98/98	冷媒×封入量	kg	HFC[R410A]×11.5		
始動電流	A	30/30		圧縮機	指定冷凍機油	HP-9			
運転音	SPL (静音モード*)	dB(A)	65(63)		冷凍機油封入量	L	5.5		
	PWL (静音モード*)	dB(A)	84(82)		クランクケースヒーター	W	30		
送風装置	送風機形式	プロペラファン×2			台数(ローター数)	1台(2ローター)			
	送風機定格出力	kW	0.70×2		空気吸込口	正面・背面・側面			
風量	m³/min	460		空気吹出口	上面				
ドレン用ヒーター	W	40		配管関係	冷媒ガス管	mm	φ31.75(ろう付)		
塗装色(マンセル記号)		シルキーシート(1Y8.5/0.5)			冷媒液管	mm	φ19.05(ろう付)		
臭気触媒	触媒の種類(貴金属)	酸化触媒(Pt)			燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)			
				排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)			

### 《注記》

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

・暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・ 運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・ 期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

※ 单相200V仕様は、单相キット(別売品)の取付が必要となります。

# 仕様

## 標準機

品番				U-GH850T2DR						
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2				
	幅	mm	2,026							
	奥行	mm	1,000(+80)							
性能	質量	kg	840		ガス消費量	定格冷房標準	kW	81.4		
	定格冷房標準能力	kW	85.0			中間冷房標準	kW	19.1		
	中間冷房標準能力	kW	38.3			中間冷房中温	kW	14.9		
	中間冷房中温能力	kW	38.4			最小冷房中温	kW	11.4		
	最小冷房中温能力	kW	24.5			定格暖房標準	kW	72.6		
	定格暖房標準能力	kW	95.0			中間暖房標準	kW	21.6		
	中間暖房標準能力	kW	44.5			最小暖房標準	kW	13.1		
	最小暖房標準能力	kW	23.8		期間成績係数 APFp : 2015		1.91			
	最大暖房低温能力	kW	90.0		期間成績係数 APF : 2006		1.95			
	最大暖房極低温能力	kW	70.0		冷暖平均定格 COPp		1.10			
	定格電圧/相数		三相200V	单相200V※		設計圧力	高压	MPa	3.50	
定格周波数	Hz	50/60		設計圧力	低压	MPa	2.50			
電気特性	運転電流	定格冷房標準	A	5.3/5.3	9.9/9.7	エンジン	排気量	L	2,488	
		定格暖房標準	A	5.3/5.3	9.9/9.7		潤滑油	種類	パナソニック純正	
	消費電力	定格冷房標準	kW	1.80/1.80	1.80/1.80	封入量	L	46		
		中間冷房標準	kW	1.79/1.79	1.79/1.79	スターターモーター	DC12V×2.0kW			
		中間冷房中温	kW	0.70/0.70	0.70/0.70	スターター方式	AC/DC変換式DCスターター			
		最小冷房中温	kW	0.45/0.45	0.45/0.45	エンジン冷却水	種別×封入量	L	パナソニック純正×27	
		定格暖房標準	kW	1.80/1.80	1.80/1.80		濃度・凍結温度	50V/V%・-35℃		
		中間暖房標準	kW	0.76/0.76	0.76/0.76	冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16		
	最小暖房標準	kW	0.54/0.54	0.54/0.54	原動機定格出力	kW	18.8			
	力率	定格冷房標準	%	98/98	91/93	冷媒×封入量	kg	HFC[R410A]×11.5		
定格暖房標準		%	98/98	91/93	圧縮機	指定冷凍機油	HP-9			
始動電流	A	30/30		冷凍機油封入量		L	5.5			
運転音	SPL (静音モード)	dB(A)	65(63)			クランクケースヒーター	W	30		
	PWL (静音モード)	dB(A)	84(82)		台数(ローター数)		1台(2ローター)			
送風装置	送風機形式		プロペラファン×2		空気吸込口	正面・背面・側面				
	送風機定格出力	kW	0.70×2		空気吹出口	上面				
風量	m3/min	460		配管関係	冷媒ガス管	mm	φ31.75(ろう付)			
ドレン用ヒーター	W	40			冷媒液管	mm	φ19.05(ろう付)			
塗装色(マンセル記号)		シルキーシート(1Y8.5/0.5)			燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)				
臭気触媒	触媒の種類(貴金属)	酸化触媒(Pt)		排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)				

### ＜注記＞

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

・暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・ 運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・ 期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

※ 单相200V仕様は、单相キット(別売品)の取付が必要となります。

# 仕様

## 標準機

品番				U-GZ450T1DR					
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2			
	幅	mm	1,650						
	奥行	mm	1,000(+80)						
性能	質量	kg	730		ガス消費量	定格冷房標準	発電時	kW	41.3
	定格冷房標準能力	kW	45.0			中間冷房標準	非発電時	kW	38.5
	中間冷房標準能力	kW	20.3				発電時	kW	10.6
	中間冷房中温能力	kW	20.5			中間冷房中温	非発電時	kW	10.3
	最小冷房中温能力	kW	13.3				発電時	kW	8.8
	定格暖房標準能力	kW	50.0			最小冷房中温	非発電時	kW	8.4
	中間暖房標準能力	kW	23.0				発電時	kW	7.8
	最小暖房標準能力	kW	17.3			定格暖房標準	非発電時	kW	7.2
	最大暖房低温能力	kW	53.0				発電時	kW	38.5
	最大暖房極低温能力	kW	42.4			中間暖房標準	非発電時	kW	37.3
定格電圧/相数		三相200V	单相200V <sup>*</sup>	発電時	kW		11.9		
定格周波数	Hz	50/60		非発電時	kW	11.4			
電気特性	運転電流	定格冷房標準	発電時	A	0.4/0.4	0.7/0.7	期間成績係数	APFp : 2015	1.85
		非発電時	A	3.4/3.4	7.1/7.1	期間成績係数		APF : 2006	1.96
	定格暖房標準	発電時	A	0.4/0.4	0.7/0.7	冷暖平均定格	COPp	1.18	
		非発電時	A	1.6/1.6	3.3/3.3	設計圧力	高圧	MPa	3.50
	定格冷房標準	発電時	kW	0.13/0.13	0.13/0.13		排気量	種類	L
		非発電時	kW	1.16/1.16	1.16/1.16	潤滑油		封入量	L
	中間冷房標準	発電時	kW	1.14/1.14	1.14/1.14		スターターモーター	種類	パナソニック純正
		非発電時	kW	1.15/1.15	1.15/1.15	スターター方式		AC/DC変換式DCスターター	
	中間冷房中温	発電時	kW	0.21/0.21	0.21/0.21	エンジン	種類×封入量	L	パナソニック純正×21
		非発電時	kW	0.33/0.33	0.33/0.33		冷却水	濃度・凍結温度	50V/V%・-35°C
最小冷房中温	発電時	kW	0.12/0.12	0.12/0.12	冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16		
	非発電時	kW	0.24/0.24	0.24/0.24	原動機定格出力	kW	10.0		
定格暖房標準	発電時	kW	0.13/0.13	0.13/0.13	冷媒×封入量	kg	HFC[R410A]×10.5		
	非発電時	kW	0.55/0.55	0.55/0.55	空気吸込口	正面・背面・側面			
中間暖房標準	発電時	kW	0.16/0.16	0.16/0.16	空気吹出口	上面			
	非発電時	kW	0.33/0.33	0.33/0.33	配管関係	冷媒ガス管	mm	φ28.58(ろう付)	
最小暖房標準	発電時	kW	0.21/0.21	0.21/0.21		冷媒液管	mm	φ12.7(ろう付)	
	非発電時	kW	0.33/0.33	0.33/0.33	燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)			
力率	定格冷房標準	発電時	%	92/89	92/93	排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)	
	非発電時	%	98/98	82/82	発電機	容量	kW	2.0	
定格暖房標準	発電時	%	90/88	91/93		種類	永久磁石界磁形 三相同期発電機		
	非発電時	%	97/99	82/83	送風装置		送風機形式	プロペラファン×2	
始動電流	A	30/30		送風機定格出力		kW	0.70×2		
運転音	SPL (静音モード)	dB (A)	60 (58)		風量	m <sup>3</sup> /min	370		
	PWL (静音モード)	dB (A)	80 (77)		塗装色 (マンセル記号)	シルキーエド(1Y8.5/0.5)			
臭気触媒	触媒の種類 (貴金属)	酸化触媒(Pt)							
圧縮機	指定冷凍機油	HP-9							
	冷凍機油封入量	L	4.4						
	クランクケースヒーター	W	30						
	台数 (ローター数)	1台(2ローター)							
ドレン用ヒーター	W	40							

### 《注記》

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

・暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

# 仕様

## 標準機

品番				U-GZ560T1DR				
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2		
	幅	mm	1,650					
	奥行	mm	1,000(+80)					
性能	質量	kg	730		ガス消費量	定格冷房標準	発電時 kW	48.2
	定格冷房標準能力	kW	56.0			非発電時 kW	45.4	
	中間冷房標準能力	kW	26.5			中間冷房標準	発電時 kW	12.6
	中間冷房中温能力	kW	26.8			非発電時 kW	12.2	
	最小冷房中温能力	kW	14.1			中間冷房中温	発電時 kW	9.8
	定格暖房標準能力	kW	63.0			非発電時 kW	9.5	
	中間暖房標準能力	kW	28.4			最小冷房中温	発電時 kW	7.6
	最小暖房標準能力	kW	17.6			非発電時 kW	7.3	
	最大暖房低温能力	kW	67.0			定格暖房標準	発電時 kW	45.3
	最大暖房極低温能力	kW	53.6			非発電時 kW	43.7	
定格電圧/相数		三相200V 单相200V*		中間暖房標準	発電時 kW	14.6		
定格周波数		Hz 50/60		非発電時 kW	13.8			
電気特性	運転電流	定格冷房標準	発電時 A	0.4/0.4	0.7/0.7	期間成績係数	APFp : 2015	1.97
		非発電時 A	3.7/3.6	7.6/7.6	期間成績係数		APF : 2006	2.11
	定格暖房標準	発電時 A	0.4/0.4	0.7/0.7	冷暖平均定格	COPp	1.26	
		非発電時 A	2.2/2.2	4.5/4.5	設計圧力	高圧 MPa	3.50	
	定格冷房標準	発電時 kW	0.13/0.13	0.13/0.13	低圧 MPa	2.50		
		非発電時 kW	1.24/1.24	1.24/1.24	排気量	L	2.488	
	中間冷房標準	発電時 kW	1.10/1.10	1.10/1.10	種類	パナソニック純正		
		非発電時 kW	1.20/1.20	1.20/1.20	潤滑油	封入量	L	40
	中間冷房中温	発電時 kW	0.41/0.41	0.41/0.41	スターターモーター	DC12V×2.0kW		
		非発電時 kW	0.51/0.51	0.51/0.51	スターター方式	AC/DC変換式DCスターター		
最小冷房中温	発電時 kW	0.15/0.15	0.15/0.15	エンジン	種別×封入量	L	パナソニック純正×21	
	非発電時 kW	0.28/0.28	0.28/0.28	冷却水	濃度・凍結温度	50V/V%・-35°C		
定格暖房標準	発電時 kW	0.13/0.13	0.13/0.13	冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16		
	非発電時 kW	0.74/0.74	0.74/0.74	原動機定格出力	kW	12.4		
中間暖房標準	発電時 kW	0.23/0.23	0.23/0.23	冷媒×封入量	kg	HFC[R410A]×11.5		
	非発電時 kW	0.50/0.50	0.50/0.50	空気吸込口	正面・背面・側面			
最小暖房標準	発電時 kW	0.13/0.13	0.13/0.13	空気吹出口	上面			
	非発電時 kW	0.22/0.22	0.22/0.22	配管関係	冷媒ガス管	mm	φ28.58(ろう付)	
力率	定格冷房標準	発電時 %	92/88	93/94	冷媒液管	mm	φ15.88(ろう付)	
	非発電時 %	98/98	82/82	燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)			
始動電流	定格暖房標準	発電時 %	91/87	90/94	排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)	
	非発電時 %	98/99	82/82	容量	kW	2.0		
運転音	SPL (静音モード)	dB (A)	59 (57)		発電機	種類	永久磁石界磁形 三相同期発電機	
	PWL (静音モード)	dB (A)	79 (77)					
臭気触媒	触媒の種類 (貴金属)	酸化触媒(Pt)						
圧縮機	指定冷凍機油	HP-9						
	冷凍機油封入量	L	4.4					
	クランクケースヒーター	W	30					
	台数 (ローター数)	1台(2ローター)						
ドレン用ヒーター	W	40						
送風装置	送風機形式	プロペラファン×2						
送風装置	送風機定格出力	kW	0.70×2					
風量	m <sup>3</sup> /min 360							
塗装色 (マンセル記号)	シルキーエド(1Y8.5/0.5)							

### 《注記》

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

\*暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

# 仕様

## 標準機

品番			U-GZ710T1DR			
外形寸法	高さ	mm	2,228			
	幅	mm	1,650			
	奥行	mm	1,000(+80)			
性能	質量	kg	770			
	定格冷房標準能力	kW	71.0			
	中間冷房標準能力	kW	32.2			
	中間冷房中温能力	kW	32.5			
	最小冷房中温能力	kW	18.0			
	定格暖房標準能力	kW	80.0			
	中間暖房標準能力	kW	37.3			
	最小暖房標準能力	kW	20.0			
	最大暖房低温能力	kW	68.0			
	最大暖房極低温能力	kW	54.4			
定格電圧/相数		三相200V	单相200V <sup>※</sup>			
定格周波数	Hz	50/60				
電気特性	運転電流	定格冷房標準	発電時	A	1.5/1.5	2.8/2.8
		非発電時	A	4.8/4.8	9.7/9.7	
	定格暖房標準	発電時	A	0.6/0.6	0.7/0.7	
		非発電時	A	2.7/2.7	5.4/5.4	
	定格冷房標準	発電時	kW	0.46/0.46	0.46/0.46	
		非発電時	kW	1.57/1.57	1.57/1.57	
	中間冷房標準	発電時	kW	1.29/1.29	1.29/1.29	
		非発電時	kW	1.45/1.45	1.45/1.45	
	中間冷房中温	発電時	kW	0.32/0.32	0.32/0.32	
		非発電時	kW	0.48/0.48	0.48/0.48	
最小冷房中温	発電時	kW	0.26/0.26	0.26/0.26		
	非発電時	kW	0.39/0.39	0.39/0.39		
定格暖房標準	発電時	kW	0.13/0.13	0.13/0.13		
	非発電時	kW	0.88/0.88	0.88/0.88		
中間暖房標準	発電時	kW	0.13/0.13	0.13/0.13		
	非発電時	kW	0.39/0.39	0.39/0.39		
最小暖房標準	発電時	kW	0.26/0.26	0.26/0.26		
	非発電時	kW	0.39/0.39	0.39/0.39		
力率	定格冷房標準	発電時	%	87/91	82/83	
	非発電時	%	95/95	81/81		
定格暖房標準	発電時	%	68/68	91/96		
	非発電時	%	93/94	81/82		
始動電流	A	30/30				
運転音	SPL (静音モード)	dB (A)	63 (61)			
	PWL (静音モード)	dB (A)	83 (80)			
臭気触媒	触媒の種類 (貴金属)	酸化触媒(Pt)				
圧縮機	指定冷凍機油		HP-9			
	冷凍機油封入量	L	4.4			
	クランクケースヒーター	W	30			
	台数 (ローター数)		1台(2ローター)			
ドレン用ヒーター	W	40				
ガス種	ガス種		い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2			
	定格冷房標準	発電時	kW	69.8		
		非発電時	kW	67.0		
	中間冷房標準	発電時	kW	15.2		
		非発電時	kW	14.8		
	中間冷房中温	発電時	kW	12.3		
		非発電時	kW	11.9		
	最小冷房中温	発電時	kW	8.0		
		非発電時	kW	7.6		
	定格暖房標準	発電時	kW	61.9		
非発電時		kW	60.0			
中間暖房標準	発電時	kW	20.1			
	非発電時	kW	19.4			
最小暖房標準	発電時	kW	11.3			
	非発電時	kW	10.9			
期間成績係数	APFp : 2015	1.97				
期間成績係数	APF : 2006	2.04				
冷暖平均定格	COPp	1.14				
設計圧力	高圧	MPa	3.50			
	低圧	MPa	2.50			
排気量	種類	L	2.488			
	種類		パナソニック純正			
潤滑油	封入量	L	40			
	スターターモーター		DC12V×2.0kW			
スターター方式		AC/DC変換式DCスターター				
エンジン	種類×封入量	L	パナソニック純正×25			
	冷却水	濃度・凍結温度	50V/V%・-35°C			
冷却水ポンプ	定格出力	kW	0.16			
原動機	定格出力	kW	15.7			
冷媒	×封入量	kg	HFC[R410A]×11.5			
空気吸込口		正面・背面・側面				
空気吹出口		上面				
配管関係	冷媒ガス管	mm	φ28.58(ろう付)			
	冷媒液管	mm	φ15.88(ろう付)			
	燃料ガス配管口		R3/4(オネジ)			
	排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)			
発電機	容量	kW	2.0			
	種類		永久磁石界磁形 三相同期発電機			
送風装置	送風機形式		プロペラファン×2			
	送風機定格出力	kW	0.70×2			
風量		m <sup>3</sup> /min	400			
塗装色 (マンセル記号)	シルキーエド(1Y8.5/0.5)					

### 《注記》

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

・暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

# 仕様

## 標準機

品番				U-GZ710T2DR				
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2		
	幅	mm	1,650					
	奥行	mm	1,000(+80)					
性能	質量	kg	770		ガス消費量	定格冷房標準	発電時 kW	69.8
	定格冷房標準能力	kW	71.0			非発電時 kW	67.0	
	中間冷房標準能力	kW	32.2			中間冷房標準	発電時 kW	15.2
	中間冷房中温能力	kW	32.5			非発電時 kW	14.8	
	最小冷房中温能力	kW	18.0			中間冷房中温	発電時 kW	12.3
	定格暖房標準能力	kW	80.0			非発電時 kW	11.9	
	中間暖房標準能力	kW	37.3			最小冷房中温	発電時 kW	8.0
	最小暖房標準能力	kW	20.0			非発電時 kW	7.6	
	最大暖房低温能力	kW	78.0			定格暖房標準	発電時 kW	61.9
	最大暖房極低温能力	kW	64.0			非発電時 kW	60.0	
定格電圧/相数			三相200V	单相200V*	中間暖房標準	発電時 kW	20.1	
定格周波数	Hz		50/60		非発電時 kW	19.4		
電気特性	運転電流	定格冷房標準	発電時 A	1.5/1.5	2.8/2.8	最小暖房標準	発電時 kW	11.3
		非発電時 A	4.8/4.8	9.7/9.7	非発電時 kW	10.9		
	定格暖房標準	発電時 A	0.6/0.6	0.7/0.7	期間成績係数 APFp : 2015			1.97
		非発電時 A	2.7/2.7	5.4/5.4	期間成績係数 APF : 2006			2.04
	中間冷房標準	発電時 kW	0.46/0.46	0.46/0.46	冷暖平均定格 COPp			1.14
		非発電時 kW	1.57/1.57	1.57/1.57	設計圧力	高圧 MPa	3.50	
	中間冷房中温	発電時 kW	1.29/1.29	1.29/1.29	低圧 MPa	2.50		
		非発電時 kW	1.45/1.45	1.45/1.45	排気量	L	2.488	
	最小冷房中温	発電時 kW	0.32/0.32	0.32/0.32	潤滑油	種類	パナソニック純正	
		非発電時 kW	0.48/0.48	0.48/0.48	封入量	L	40	
定格暖房標準	発電時 kW	0.13/0.13	0.13/0.13	スターターモーター	DC12V×2.0kW			
	非発電時 kW	0.88/0.88	0.88/0.88	スターター方式	AC/DC変換式DCスターター			
中間暖房標準	発電時 kW	0.13/0.13	0.13/0.13	エンジン	種別×封入量	L	パナソニック純正×25	
	非発電時 kW	0.39/0.39	0.39/0.39	冷却水	濃度・凍結温度	50V/V%・-35°C		
最小暖房標準	発電時 kW	0.26/0.26	0.26/0.26	冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16		
	非発電時 kW	0.39/0.39	0.39/0.39	原動機定格出力	kW	15.7		
力率	定格冷房標準	発電時 %	87/91	冷媒×封入量	kg	HFC[R410A]×11.5		
	非発電時 %	95/95	81/81	空気吸込口	正面・背面・側面			
定格暖房標準	発電時 %	68/68	91/96	空気吹出口	上面			
	非発電時 %	93/94	81/82	冷媒ガス管	mm	φ28.58(ろう付)		
始動電流	A	30/30		冷媒液管	mm	φ15.88(ろう付)		
運転音	SPL (静音モード)	dB (A)	63 (61)		燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)		
	PWL (静音モード)	dB (A)	83 (80)		排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)	
臭気触媒	触媒の種類 (貴金属)	酸化触媒(Pt)		容量	kW	2.0		
圧縮機	指定冷凍機油	HP-9		種類	永久磁石界磁形 三相同期発電機			
	冷凍機油封入量	L	4.4		送風装置	送風機形式	プロペラファン×2	
	クランクケースヒーター	W	30		送風機定格出力	kW	0.70×2	
台数 (ローター数)			1台(2ローター)		風量	m <sup>3</sup> /min	400	
ドレン用ヒーター	W	40		塗装色 (マンセル記号)	シルキーシエド(1Y8.5/0.5)			

### 《注記》

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

\*暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

# 仕様

## 標準機

品番				U-GZ850T1DR				
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2		
	幅	mm	2,026					
	奥行	mm	1,000(+80)					
性能	質量	kg	855		ガス消費量	定格冷房標準	発電時 kW	83.5
	定格冷房標準能力	kW	85.0			非発電時 kW	81.4	
	中間冷房標準能力	kW	38.3			中間冷房標準	発電時 kW	19.7
	中間冷房中温能力	kW	38.4			非発電時 kW	19.1	
	最小冷房中温能力	kW	24.5			中間冷房中温	発電時 kW	15.3
	定格暖房標準能力	kW	95.0			非発電時 kW	14.9	
	中間暖房標準能力	kW	44.5			最小冷房中温	発電時 kW	11.8
	最小暖房標準能力	kW	23.8			非発電時 kW	11.4	
	最大暖房低温能力	kW	80.0			定格暖房標準	発電時 kW	74.7
	最大暖房極低温能力	kW	64.6			非発電時 kW	72.6	
定格電圧/相数		三相200V	单相200V <sup>※</sup>		中間暖房標準	発電時 kW	23.2	
定格周波数	Hz	50/60		非発電時 kW	21.6			
電気特性	運転電流	定格冷房標準	発電時 A	2.9/2.9	6.0/6.0	最小暖房標準	発電時 kW	13.5
		非発電時 A	5.3/5.3	11.3/11.3	非発電時 kW	13.1		
	定格暖房標準	発電時 A	2.9/2.9	6.0/6.0	期間成績係数 APFp : 2015	1.91		
		非発電時 A	5.3/5.3	11.4/11.3	期間成績係数 APF : 2006	1.92		
	定格冷房標準	発電時 kW	0.98/0.98	0.98/0.98	冷暖平均定格 COPp	1.10		
		非発電時 kW	1.80/1.80	1.80/1.80	設計圧力 高圧 MPa	3.50		
	中間冷房標準	発電時 kW	1.57/1.57	1.57/1.57	低圧 MPa	2.50		
		非発電時 kW	1.79/1.79	1.79/1.79	排気量	L	2.488	
	中間冷房中温	発電時 kW	0.53/0.53	0.53/0.53	種類	パナソニック純正		
		非発電時 kW	0.70/0.70	0.70/0.70	潤滑油 封入量	L		46
最小冷房中温	発電時 kW	0.33/0.33	0.33/0.33	スターターモーター	DC12V×2.0kW			
	非発電時 kW	0.45/0.45	0.45/0.45	スターター方式	AC/DC変換式DCスターター			
定格暖房標準	発電時 kW	0.98/0.98	0.98/0.98	エンジン 種別×封入量	L		パナソニック純正×27	
	非発電時 kW	1.80/1.80	1.80/1.80	冷却水 濃度・凍結温度	50V/ℓ%・-35℃			
中間暖房標準	発電時 kW	0.16/0.16	0.16/0.16	冷却水ポンプ定格出力	kW		0.16	
	非発電時 kW	0.76/0.76	0.76/0.76	原動機定格出力	kW		18.8	
最小暖房標準	発電時 kW	0.41/0.41	0.41/0.41	冷媒×封入量	kg		HFC[R410A]×11.5	
	非発電時 kW	0.54/0.54	0.54/0.54	空気吸込口			正面・背面・側面	
力率	定格冷房標準	発電時 %	98/98	82/82	空気吹出口	上面		
	非発電時 %	98/98	80/80	冷媒ガス管	mm	φ31.75(ろう付)		
始動電流	定格暖房標準	発電時 %	98/98	82/82	冷媒液管	mm	φ19.05(ろう付)	
	非発電時 %	98/98	79/80	燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)			
運転音	SPL (静音モード) dB(A)	65(63)		配管関係	排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)	
	PWL (静音モード) dB(A)	84(82)		発電機	容量	kW		2.0
臭気触媒	触媒の種類 (貴金属)	酸化触媒(Pt)			種類			永久磁石界磁形 三相同期発電機
圧縮機	指定冷凍機油	HP-9		送風装置	送風機形式	プロペラファン×2		
	冷凍機油封入量	L	5.5		送風機定格出力	kW		0.70×2
	クランクケースヒーター	W	30		風量	m <sup>3</sup> /min	460	
	台数 (ローター数)	1台(2ローター)		塗装色 (マンセル記号)	シルキーエド(1Y8.5/0.5)			
ドレン用ヒーター	W	40						

### 《注記》

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

・暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・ 運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・ 期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

# 仕様

## 標準機

品番				U-GZ850T2DR					
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2			
	幅	mm	2,026						
	奥行	mm	1,000(+80)						
性能	質量	kg	855		ガス消費量	定格冷房標準	発電時	kW	83.5
	定格冷房標準能力	kW	85.0			非発電時	kW	81.4	
	中間冷房標準能力	kW	38.3			中間冷房標準	発電時	kW	19.7
	中間冷房中温能力	kW	38.4			非発電時	kW	19.1	
	最小冷房中温能力	kW	24.5			中間冷房中温	発電時	kW	15.3
	定格暖房標準能力	kW	95.0			非発電時	kW	14.9	
	中間暖房標準能力	kW	44.5			最小冷房中温	発電時	kW	11.8
	最小暖房標準能力	kW	23.8			非発電時	kW	11.4	
	最大暖房低温能力	kW	90.0			定格暖房標準	発電時	kW	74.7
	最大暖房極低温能力	kW	70.0			非発電時	kW	72.6	
定格電圧/相数			三相200V	单相200V <sup>※</sup>	中間暖房標準	発電時	kW	23.2	
定格周波数	Hz		50/60		非発電時	kW	21.6		
電気特性	運転電流	定格冷房標準	発電時	A	2.9/2.9	6.0/6.0	期間成績係数	APFp : 2015	1.91
		非発電時	A	5.3/5.3	11.3/11.3	APF : 2006		1.92	
	定格暖房標準	発電時	A	2.9/2.9	6.0/6.0	冷暖平均定格	COPp	1.10	
		非発電時	A	5.3/5.3	11.4/11.3	設計圧力	高压	MPa	3.50
	定格冷房標準	発電時	kW	0.98/0.98	0.98/0.98	低压	MPa	2.50	
		非発電時	kW	1.80/1.80	1.80/1.80	エンジン	排気量	L	2.488
	中間冷房標準	発電時	kW	1.57/1.57	1.57/1.57		潤滑油	種類	パナソニック純正
		非発電時	kW	1.79/1.79	1.79/1.79	封入量	L	46	
	中間冷房中温	発電時	kW	0.53/0.53	0.53/0.53	スターターモーター	DC12V×2.0kW		
		非発電時	kW	0.70/0.70	0.70/0.70	スターター方式	AC/DC変換式DCスターター		
最小冷房中温	発電時	kW	0.33/0.33	0.33/0.33	エンジン	種別×封入量	L	パナソニック純正×27	
	非発電時	kW	0.45/0.45	0.45/0.45	冷却水	濃度・凍結温度	50V/V%・-35°C		
定格暖房標準	発電時	kW	0.98/0.98	0.98/0.98	冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16		
	非発電時	kW	1.80/1.80	1.80/1.80	原動機定格出力	kW	18.8		
中間暖房標準	発電時	kW	0.16/0.16	0.16/0.16	冷媒×封入量	kg	HFC[R410A]×11.5		
	非発電時	kW	0.76/0.76	0.76/0.76	空気吸込口	正面・背面・側面			
最小暖房標準	発電時	kW	0.41/0.41	0.41/0.41	空気吹出口	上面			
	非発電時	kW	0.54/0.54	0.54/0.54	配管関係	冷媒ガス管	mm	φ31.75(ろう付)	
力率	定格冷房標準	発電時	%	98/98		82/82	冷媒液管	mm	φ19.05(ろう付)
	非発電時	%	98/98	80/80	燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)			
定格暖房標準	発電時	%	98/98	82/82	排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)		
	非発電時	%	98/98	79/80	発電機	容量	kW	2.0	
始動電流	A	30/30		種類		永久磁石界磁形 三相同期発電機			
運転音	SPL (静音モード)	dB (A)	65 (63)		送風装置	送風機形式	プロペラファン×2		
	PWL (静音モード)	dB (A)	84 (82)			送風機定格出力	kW	0.70×2	
臭気触媒	触媒の種類 (貴金属)	酸化触媒(Pt)			風量	m <sup>3</sup> /min	460		
圧縮機	指定冷凍機油	HP-9			塗装色 (マンセル記号)	シルキーエド(1Y8.5/0.5)			
	冷凍機油封入量	L	5.5						
ドレン用ヒーター	クランクケースヒーター	W	30						
	台数 (ローター数)	1台(2ローター)							

### 《注記》

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

・暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・ 運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・ 期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。



# 仕様

## 標準機

品番				U-GWH450T1DR							
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2					
	幅	mm	1,650								
	奥行	mm	1,000(+80)								
性能	質量	kg	720		ガス消費量	定格冷房標準	kW	38.5			
	定格冷房標準能力	kW	45.0			中間冷房標準	kW	10.3			
	中間冷房標準能力	kW	20.3			中間冷房中温	kW	8.4			
	中間冷房中温能力	kW	20.5			最小冷房中温	kW	7.2			
	最小冷房中温能力	kW	13.3			定格暖房標準	kW	37.3			
	定格暖房標準能力	kW	50.0			中間暖房標準	kW	11.4			
	中間暖房標準能力	kW	23.0			最小暖房標準	kW	10.1			
	最小暖房標準能力	kW	17.3		期間成績係数 APFp : 2015		1.85				
	最大暖房低温能力	kW	53.0		期間成績係数 APF : 2006		1.95				
	最大暖房極低温能力	kW	42.4		冷暖平均定格 COPp		1.18				
定格電圧/相数		三相200V	単相200V*		設計圧力	高圧	MPa	3.50			
定格周波数	Hz	50/60		低圧	MPa	2.50					
電気特性	運転電流	定格冷房標準	A	3.4/3.4	6.3/6.2		エンジン	排気量	L	2.488	
		定格暖房標準	A	1.6/1.6	3.1/3.2			潤滑油	種類	パナソニック純正	
	消費電力	定格冷房標準	kW	1.16/1.16	1.16/1.16		封入量	L	40		
		中間冷房標準	kW	1.15/1.15	1.15/1.15		スターターモーター	DC12V×2.0kW			
		中間冷房中温	kW	0.33/0.33	0.33/0.33		スターター方式	AC/DC変換式DCスターター			
		最小冷房中温	kW	0.24/0.24	0.24/0.24		エンジン	種別×封入量	L	パナソニック純正×21	
		定格暖房標準	kW	0.55/0.55	0.55/0.55		冷却水	濃度・凍結温度	50V/V%・-35°C		
		中間暖房標準	kW	0.33/0.33	0.33/0.33		冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16		
	力率	定格冷房標準	%	98/98	92/94		原動機定格出力	kW	10.0		
		定格暖房標準	%	97/99	89/87		冷媒×封入量	kg	HFC[R410A]×10.5		
始動電流	A	30/30		圧縮機	指定冷凍機油	HP-9					
運転音	SPL (静音モード)	dB (A)	60 (58)		冷凍機油封入量	L	7.5				
	PWL (静音モード)	dB (A)	80 (77)		クランクケースヒーター	W	30				
送風装置	送風機形式	プロペラファン×2				台数 (ローター数)	1台 (2ローター)				
	送風機定格出力	kW	0.70×2		空気吸込口	正面・背面・側面					
風量	m³/min	370		空気吹出口	上面						
ドレン用ヒーター	W	40		配管関係	冷媒ガス管	mm	φ28.58(ろう付)				
塗装色 (マンセル記号)	シルキーシート(1Y8.5/0.5)				冷媒液管	mm	φ12.7(ろう付)				
臭気触媒	触媒の種類 (貴金属)	酸化触媒(Pt)				燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)				
					排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)				

### <<注記>>

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

・暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・ 運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・ 期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

※ 単相200V仕様は、単相キット(別売品)の取付が必要となります。

# 仕様

## 標準機

品番				U-GWH560T1DR							
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2					
	幅	mm	1,650								
	奥行	mm	1,000(+80)								
性能	質量	kg	720		ガス消費量	定格冷房標準	kW	45.4			
	定格冷房標準能力	kW	56.0			中間冷房標準	kW	12.2			
	中間冷房標準能力	kW	26.5			中間冷房中温	kW	9.5			
	中間冷房中温能力	kW	26.8			最小冷房中温	kW	7.3			
	最小冷房中温能力	kW	14.1			定格暖房標準	kW	43.7			
	定格暖房標準能力	kW	63.0			中間暖房標準	kW	13.8			
	中間暖房標準能力	kW	28.4			最小暖房標準	kW	10.0			
	最小暖房標準能力	kW	17.6		期間成績係数 APFp : 2015		1.97				
	最大暖房低温能力	kW	67.0		期間成績係数 APF : 2006		2.11				
	最大暖房極低温能力	kW	53.6		冷暖平均定格 COPp		1.26				
定格電圧/相数		三相200V	単相200V*		設計圧力	高圧	MPa	3.50			
定格周波数	Hz	50/60		低圧	MPa	2.50					
電気特性	運転電流	定格冷房標準	A	3.7/3.6	6.8/6.6		エンジン	排気量	L	2.488	
		定格暖房標準	A	2.2/2.2	4.1/4.1			潤滑油	種類	パナソニック純正	
	消費電力	定格冷房標準	kW	1.24/1.24	1.24/1.24		封入量	L	40		
		中間冷房標準	kW	1.20/1.20	1.20/1.20		スターターモーター	DC12V×2.0kW			
		中間冷房中温	kW	0.51/0.51	0.51/0.51		スターター方式	AC/DC変換式DCスターター			
		最小冷房中温	kW	0.28/0.28	0.28/0.28		エンジン	種別×封入量	L	パナソニック純正×21	
		定格暖房標準	kW	0.74/0.74	0.74/0.74		冷却水	濃度・凍結温度	50V/V%・-35°C		
		中間暖房標準	kW	0.50/0.50	0.50/0.50		冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16		
	力率	定格冷房標準	%	98/98	92/94		原動機定格出力	kW	12.4		
		定格暖房標準	%	98/99	91/90		冷媒×封入量	kg	HFC[R410A]×11.5		
始動電流	A	30/30		圧縮機	指定冷凍機油	HP-9					
運転音	SPL (静音モード)	dB (A)	59 (57)		冷凍機油封入量	L	7.5				
	PWL (静音モード)	dB (A)	79 (77)		クランクケースヒーター	W	30				
送風装置	送風機形式	プロペラファン×2			台数 (ローター数)	1台 (2ローター)					
	送風機定格出力	kW	0.70×2		空気吸込口	正面・背面・側面					
風量	m³/min	360		空気吹出口	上面						
ドレン用ヒーター	W	40		配管関係	冷媒ガス管	mm	φ28.58(ろう付)				
塗装色 (マンセル記号)	シルキーシート(1Y8.5/0.5)				冷媒液管	mm	φ15.88(ろう付)				
臭気触媒	触媒の種類 (貴金属)	酸化触媒(Pt)			燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)					
					排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)				

### <<注記>>

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

・暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

※ 単相200V仕様は、単相キット(別売品)の取付が必要となります。

# 仕様

## 標準機

品番				U-GWH710T1DR					
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2			
	幅	mm	1,650						
	奥行	mm	1,000(+80)						
性能	質量	kg	760		ガス消費量	定格冷房標準	kW	67.0	
	定格冷房標準能力	kW	71.0			中間冷房標準	kW	14.8	
	中間冷房標準能力	kW	32.2			中間冷房中温	kW	11.9	
	中間冷房中温能力	kW	32.5			最小冷房中温	kW	7.6	
	最小冷房中温能力	kW	18.0			定格暖房標準	kW	60.0	
	定格暖房標準能力	kW	80.0			中間暖房標準	kW	19.4	
	中間暖房標準能力	kW	37.3			最小暖房標準	kW	10.9	
	最大暖房低温能力	kW	68.0		期間成績係数 APFp : 2015		1.97		
	最大暖房極低温能力	kW	54.4		期間成績係数 APF : 2006		2.04		
	定格電圧/相数		三相200V	単相200V*		冷暖平均定格 COPp		1.13	
定格周波数	Hz	50/60		設計圧力	高圧	MPa	3.50		
電気特性	運転電流	定格冷房標準	A	4.8/4.8	低圧	MPa	2.50		
		定格暖房標準	A	2.7/2.7	4.7/4.8	排気量	L	2.488	
	消費電力	定格冷房標準	kW	1.57/1.57	1.57/1.57	エンジン	潤滑油 種類		ハナソニック純正
		中間冷房標準	kW	1.45/1.45	1.45/1.45		潤滑油 封入量	L	40
		中間冷房中温	kW	0.48/0.48	0.48/0.48	スターターモーター		DC12V×2.0kW	
		最小冷房中温	kW	0.39/0.39	0.39/0.39	スターター方式		AC/DC変換式DCスターター	
		定格暖房標準	kW	0.88/0.88	0.88/0.88	エンジン 種類×封入量	L	ハナソニック純正×25	
		中間暖房標準	kW	0.39/0.39	0.39/0.39	冷却水 濃度・凍結温度		50V/V%・-35°C	
	力率	定格冷房標準	%	95/95	92/94	冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16	
		定格暖房標準	%	93/94	93/92	原動機定格出力	kW	15.7	
始動電流	A	30/30		冷媒×封入量	kg	HFC[R410A]×11.5			
運転音	SPL (静音モード)	dB(A)	63(61)		圧縮機	指定冷凍機油		HP-9	
	PWL (静音モード)	dB(A)	83(80)			冷凍機油封入量	L	7.5	
送風装置	送風機形式		プロペラファン×2			クランクケースヒーター	W	30	
	送風機定格出力	kW	0.70×2		台数(ローター数)		1台(2ローター)		
風量	m³/min	400		空気吸込口	正面・背面・側面				
ドレン用ヒーター	W	40		空気吹出口	上面				
塗装色(マンセル記号)		シルキーシート(1Y8.5/0.5)		配管関係	冷媒ガス管	mm	φ28.58(ろう付)		
臭気触媒	触媒の種類(貴金属)	酸化触媒(Pt)			冷媒液管	mm	φ15.88(ろう付)		
				燃料ガス配管口			R3/4(オネジ)		
				排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)			

### <<注記>>

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

・暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

※ 単相200V仕様は、単相キット(別売品)の取付が必要となります。

# 仕様

## 標準機

品番				U-GWH710T2DR					
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2			
	幅	mm	1,650						
	奥行	mm	1,000(+80)						
性能	質量	kg	760		ガス消費量	定格冷房標準	kW	67.0	
	定格冷房標準能力	kW	71.0			中間冷房標準	kW	14.8	
	中間冷房標準能力	kW	32.2			中間冷房中温	kW	11.9	
	中間冷房中温能力	kW	32.5			最小冷房中温	kW	7.6	
	最小冷房中温能力	kW	18.0			定格暖房標準	kW	60.0	
	定格暖房標準能力	kW	80.0			中間暖房標準	kW	19.4	
	中間暖房標準能力	kW	37.3			最小暖房標準	kW	10.9	
	最大暖房低温能力	kW	78.0		期間成績係数 APFp : 2015		1.97		
	最大暖房極低温能力	kW	64.0		期間成績係数 APF : 2006		2.04		
	定格電圧/相数		三相200V	单相200V*		冷暖平均定格 COPp		1.13	
定格周波数	Hz	50/60		設計圧力	高圧	MPa	3.50		
電気特性	運転電流	定格冷房標準	A	4.8/4.8	低圧	MPa	2.50		
		定格暖房標準	A	2.7/2.7	4.7/4.8	排気量	L	2.488	
	消費電力	定格冷房標準	kW	1.57/1.57	1.57/1.57	エンジン	潤滑油 種類		パナソニック純正
		中間冷房標準	kW	1.45/1.45	1.45/1.45		潤滑油 封入量	L	40
		中間冷房中温	kW	0.48/0.48	0.48/0.48	スターターモーター		DC12V×2.0kW	
		最小冷房中温	kW	0.39/0.39	0.39/0.39	スターター方式		AC/DC変換式DCスターター	
		定格暖房標準	kW	0.88/0.88	0.88/0.88	エンジン 種類×封入量	L	パナソニック純正×25	
		中間暖房標準	kW	0.39/0.39	0.39/0.39	冷却水 濃度・凍結温度		50V/V%・-35°C	
	力率	定格冷房標準	%	95/95	92/94	冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16	
		定格暖房標準	%	93/94	93/92	原動機定格出力	kW	15.7	
始動電流	A	30/30		冷媒×封入量	kg	HFC[R410A]×11.5			
運転音	SPL (静音モード)	dB(A)	63(61)		圧縮機	指定冷凍機油		HP-9	
	PWL (静音モード)	dB(A)	83(80)			冷凍機油封入量	L	7.5	
送風装置	送風機形式		プロペラファン×2			クランクケースヒーター	W	30	
	送風機定格出力	kW	0.70×2		台数 (ローター数)		1台 (2ローター)		
風量	m³/min	400		空気吸込口		正面・背面・側面			
ドレン用ヒーター	W	40		空気吹出口		上面			
塗装色 (マンセル記号)		シルキーシート(1Y8.5/0.5)		配管関係	冷媒ガス管	mm	φ28.58(ろう付)		
臭気触媒	触媒の種類 (貴金属)	酸化触媒(Pt)			冷媒液管	mm	φ15.88(ろう付)		
					燃料ガス配管口		R3/4(オネジ)		
				排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)			

### 《注記》

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

\*暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・期間成績係数は、APFからAPFp(ρは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

※ 单相200V仕様は、单相キット(別売品)の取付が必要となります。

# 仕様

## 標準機

品番				U-GWH850T1DR						
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2				
	幅	mm	2,026							
	奥行	mm	1,000(+80)							
性能	質量	kg	845		ガス消費量	定格冷房標準	kW	81.4		
	定格冷房標準能力	kW	85.0			中間冷房標準	kW	19.1		
	中間冷房標準能力	kW	38.3			中間冷房中温	kW	14.9		
	中間冷房中温能力	kW	38.4			最小冷房中温	kW	11.4		
	最小冷房中温能力	kW	24.5			定格暖房標準	kW	72.6		
	定格暖房標準能力	kW	95.0			中間暖房標準	kW	21.6		
	中間暖房標準能力	kW	44.5			最小暖房標準	kW	13.1		
	最小暖房標準能力	kW	23.8		期間成績係数 APFp : 2015		1.91			
	最大暖房低温能力	kW	80.0		期間成績係数 APF : 2006		1.95			
	最大暖房極低温能力	kW	64.4		冷暖平均定格 COPp		1.10			
定格電圧/相数		三相200V	単相200V*		設計圧力	高圧	MPa	3.50		
定格周波数	Hz	50/60		低圧	MPa	2.50				
電気特性	運転電流	定格冷房標準	A	5.3/5.3	エンジン	排気量	L	2.488		
		定格暖房標準	A	5.3/5.3		潤滑油	種類	パナソニック純正		
	消費電力	定格冷房標準	kW	1.80/1.80		封入量	L	46		
		中間冷房標準	kW	1.79/1.79		スターターモーター	DC12V×2.0kW			
		中間冷房中温	kW	0.70/0.70		スターター方式	AC/DC変換式DCスターター			
		最小冷房中温	kW	0.45/0.45		エンジン	種別×封入量	L	パナソニック純正×27	
		定格暖房標準	kW	1.80/1.80		冷却水	濃度・凍結温度	50V/V%・-35°C		
		中間暖房標準	kW	0.76/0.76		冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16		
	力率	定格冷房標準	%	98/98		原動機定格出力	kW	18.8		
		定格暖房標準	%	98/98		冷媒×封入量	kg	HFC[R410A]×11.5		
始動電流	A	30/30		圧縮機	指定冷凍機油	HP-9				
運転音	SPL (静音モード)	dB(A)	65(63)		冷凍機油封入量	L	7.5			
	PWL (静音モード)	dB(A)	84(82)		クランクケースヒーター	W	30			
送風装置	送風機形式	プロペラファン×2		台数 (ローター数)	1台 (2ローター)					
	送風機定格出力	kW	0.70×2		空気吸込口	正面・背面・側面				
風量	m³/min	460		空気吹出口	上面					
ドレン用ヒーター	W	40		配管関係	冷媒ガス管	mm	φ31.75(ろう付)			
塗装色 (マンセル記号)	シルキーシート(1Y8.5/0.5)				冷媒液管	mm	φ19.05(ろう付)			
臭気触媒	触媒の種類 (貴金属)	酸化触媒(Pt)			燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)				
				排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)				

### <<注記>>

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

・暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・ 運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・ 期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

※ 単相200V仕様は、単相キット(別売品)の取付が必要となります。

# 仕様

## 標準機

品番				U-GWH850T2DR					
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2			
	幅	mm	2,026						
	奥行	mm	1,000(+80)						
性能	質量	kg	845		ガス消費量	定格冷房標準	kW	81.4	
	定格冷房標準能力	kW	85.0			中間冷房標準	kW	19.1	
	中間冷房標準能力	kW	38.3			中間冷房中温	kW	14.9	
	中間冷房中温能力	kW	38.4			最小冷房中温	kW	11.4	
	最小冷房中温能力	kW	24.5			定格暖房標準	kW	72.6	
	定格暖房標準能力	kW	95.0			中間暖房標準	kW	21.6	
	中間暖房標準能力	kW	44.5			最小暖房標準	kW	13.1	
	最大暖房低温能力	kW	90.0		期間成績係数 APFp : 2015		1.91		
	最大暖房極低温能力	kW	70.0		期間成績係数 APF : 2006		1.95		
	定格電圧/相数		三相200V	単相200V*		冷暖平均定格 COPp		1.10	
定格周波数	Hz	50/60		設計圧力	高圧	MPa	3.50		
電気特性	運転電流	定格冷房標準	A	5.3/5.3	低圧	MPa	2.50		
		定格暖房標準	A	5.3/5.3	9.9/9.7	排気量	L	2.488	
	消費電力	定格冷房標準	kW	1.80/1.80	1.80/1.80	エンジン	潤滑油 種類	パナソニック純正	
		中間冷房標準	kW	1.79/1.79	1.79/1.79		潤滑油 封入量	L	46
		中間冷房中温	kW	0.70/0.70	0.70/0.70	スターターモーター	DC12V×2.0kW		
		最小冷房中温	kW	0.45/0.45	0.45/0.45	スターター方式	AC/DC変換式DCスターター		
		定格暖房標準	kW	1.80/1.80	1.80/1.80	エンジン 種類×封入量	L	パナソニック純正×27	
		中間暖房標準	kW	0.76/0.76	0.76/0.76	冷却水 濃度・凍結温度	50V/V%・-35°C		
	力率	定格冷房標準	%	98/98	91/93	冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16	
		定格暖房標準	%	98/98	91/93	原動機定格出力	kW	18.8	
始動電流	A	30/30		冷媒×封入量	kg	HFC[R410A]×11.5			
運転音	SPL (静音モード)	dB(A)	65(63)		圧縮機	指定冷凍機油	HP-9		
	PWL (静音モード)	dB(A)	84(82)			冷凍機油封入量	L	7.5	
送風装置	送風機形式	プロペラファン×2		クランクケースヒーター		W	30		
	送風機定格出力	kW	0.70×2		台数 (ローター数)	1台 (2ローター)			
風量	m <sup>3</sup> /min	460		空気吸込口	正面・背面・側面				
ドレン用ヒーター	W	40		空気吹出口	上面				
塗装色 (マンセル記号)	シルキーシート(1Y8.5/0.5)		配管関係						
臭気触媒	触媒の種類 (貴金属)	酸化触媒(Pt)		冷媒ガス管	mm	φ31.75(ろう付)			
				冷媒液管	mm	φ19.05(ろう付)			
				燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)				
				排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)			

### 《注記》

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

\*暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・ 運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・ 期間成績係数は、APFからAPFp(ρは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

※ 単相200V仕様は、単相キット(別売品)の取付が必要となります。

# 仕様

## 標準機

品番				U-GWZ450T1DR				
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2		
	幅	mm	1,650					
	奥行	mm	1,000(+80)					
性能	質量	kg	735		ガス消費量	定格冷房標準	発電時 kW	41.3
	定格冷房標準能力	kW	45.0			非発電時 kW	38.5	
	中間冷房標準能力	kW	20.3			中間冷房標準	発電時 kW	10.6
	中間冷房中温能力	kW	20.5			非発電時 kW	10.3	
	最小冷房中温能力	kW	13.3			中間冷房中温	発電時 kW	8.8
	定格暖房標準能力	kW	50.0			非発電時 kW	8.4	
	中間暖房標準能力	kW	23.0			最小冷房中温	発電時 kW	7.8
	最小暖房標準能力	kW	17.3			非発電時 kW	7.2	
	最大暖房低温能力	kW	53.0			定格暖房標準	発電時 kW	38.5
	最大暖房極低温能力	kW	42.4			非発電時 kW	37.3	
定格電圧/相数	三相200V		単相200V <sup>※</sup>		中間暖房標準	発電時 kW	11.9	
定格周波数	Hz	50/60		非発電時 kW	11.4			
電気特性	運転電流	定格冷房標準	発電時 A	0.4/0.4	0.7/0.7	期間成績係数	APFp : 2015	1.85
		非発電時 A	3.4/3.4	7.1/7.1	APF : 2006		1.96	
	定格暖房標準	発電時 A	0.4/0.4	0.7/0.7	冷暖平均定格	COPp	1.18	
		非発電時 A	1.6/1.6	3.3/3.3	設計圧力	高圧 MPa	3.50	
	定格冷房標準	発電時 kW	0.13/0.13	0.13/0.13	低圧 MPa	2.50		
		非発電時 kW	1.16/1.16	1.16/1.16	排気量	L	2.488	
	中間冷房標準	発電時 kW	1.14/1.14	1.14/1.14	種類	パナソニック純正		
		非発電時 kW	1.15/1.15	1.15/1.15	潤滑油	封入量	40	
	中間冷房中温	発電時 kW	0.21/0.21	0.21/0.21	スターターモーター	DC12V×2.0kW		
		非発電時 kW	0.33/0.33	0.33/0.33	スターター方式	AC/DC変換式DCスターター		
最小冷房中温	発電時 kW	0.12/0.12	0.12/0.12	エンジン	種別×封入量	L	パナソニック純正×21	
	非発電時 kW	0.24/0.24	0.24/0.24	冷却水	濃度・凍結温度	50V/ℓ%・-35℃		
定格暖房標準	発電時 kW	0.13/0.13	0.13/0.13	冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16		
	非発電時 kW	0.55/0.55	0.55/0.55	原動機定格出力	kW	10.0		
中間暖房標準	発電時 kW	0.16/0.16	0.16/0.16	冷媒×封入量	kg	HFC[R410A]×10.5		
	非発電時 kW	0.33/0.33	0.33/0.33	空気吸込口	正面・背面・側面			
最小暖房標準	発電時 kW	0.21/0.21	0.21/0.21	空気吹出口	上面			
	非発電時 kW	0.33/0.33	0.33/0.33	配管関係	冷媒ガス管	mm	φ28.58(ろう付)	
力率	定格冷房標準	発電時 %	92/89	92/93	冷媒液管	mm	φ12.7(ろう付)	
	非発電時 %	98/98	82/82	燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)			
始動電流	定格暖房標準	発電時 %	90/88	91/93	排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)	
	非発電時 %	97/99	82/83	容量	kW	2.0		
運転音	SPL (静音モード)	dB (A)	60(58)		発電機	種類	永久磁石界磁形 三相同期発電機	
	PWL (静音モード)	dB (A)	80(77)					
臭気触媒	触媒の種類 (貴金属)	酸化触媒(Pt)						
圧縮機	指定冷凍機油	HP-9						
	冷凍機油封入量	L	7.5					
	クランクケースヒーター	W	30					
	台数 (ローター数)	1台(2ローター)						
ドレン用ヒーター	W	40						
送風装置	送風機形式	プロペラファン×2						
風量	送風機定格出力	kW	0.70×2					
塗装色 (マンセル記号)	シルキーエド(1Y8.5/0.5)							

### 《注記》

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

・暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

# 仕様

## 標準機

品番				U-GWZ560T1DR				
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2		
	幅	mm	1,650					
	奥行	mm	1,000(+80)					
性能	質量	kg	735		ガス消費量	定格冷房標準	発電時 kW	48.2
	定格冷房標準能力	kW	56.0			非発電時 kW	45.4	
	中間冷房標準能力	kW	26.5			中間冷房標準	発電時 kW	12.6
	中間冷房中温能力	kW	26.8			非発電時 kW	12.2	
	最小冷房中温能力	kW	14.1			中間冷房中温	発電時 kW	9.8
	定格暖房標準能力	kW	63.0			非発電時 kW	9.5	
	中間暖房標準能力	kW	28.4			最小冷房中温	発電時 kW	7.6
	最小暖房標準能力	kW	17.6			非発電時 kW	7.3	
	最大暖房低温能力	kW	67.0			定格暖房標準	発電時 kW	45.3
	最大暖房極低温能力	kW	53.6			非発電時 kW	43.7	
定格電圧/相数			三相200V	单相200V <sup>※</sup>	中間暖房標準	発電時 kW	14.6	
定格周波数	Hz		50/60		非発電時 kW	13.8		
電気特性	運転電流	定格冷房標準	発電時 A	0.4/0.4	0.7/0.7	最小暖房標準	発電時 kW	10.4
		非発電時 A	3.7/3.6	7.6/7.6	非発電時 kW	10.0		
	消費電力	定格暖房標準	発電時 A	0.4/0.4	0.7/0.7	期間成績係数 APFp : 2015	1.97	
		非発電時 A	2.2/2.2	4.5/4.5	期間成績係数 APF : 2006	2.11		
		定格冷房標準	発電時 kW	0.13/0.13	0.13/0.13	冷暖平均定格 COPp	1.26	
		非発電時 kW	1.24/1.24	1.24/1.24	設計圧力 高圧 MPa	3.50		
		中間冷房標準	発電時 kW	1.10/1.10	1.10/1.10	低圧 MPa	2.50	
		非発電時 kW	1.20/1.20	1.20/1.20	排気量	L	2.488	
		中間冷房中温	発電時 kW	0.41/0.41	0.41/0.41	種類	パナソニック純正	
		非発電時 kW	0.51/0.51	0.51/0.51	潤滑油 封入量	L	40	
最小冷房中温		発電時 kW	0.15/0.15	0.15/0.15	スターターモーター	DC12V×2.0kW		
非発電時 kW		0.28/0.28	0.28/0.28	スターター方式	AC/DC変換式DCスターター			
力率	定格暖房標準	発電時 kW	0.13/0.13	0.13/0.13	エンジン 種別×封入量	L	パナソニック純正×21	
	非発電時 kW	0.74/0.74	0.74/0.74	冷却水 濃度・凍結温度	50V/V%・-35°C			
	中間暖房標準	発電時 kW	0.23/0.23	0.23/0.23	冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16	
	非発電時 kW	0.50/0.50	0.50/0.50	原動機定格出力	kW	12.4		
	最小暖房標準	発電時 kW	0.13/0.13	0.13/0.13	冷媒×封入量	kg	HFC[R410A]×11.5	
	非発電時 kW	0.22/0.22	0.22/0.22	空気吸込口	正面・背面・側面			
	定格冷房標準	発電時 %	92/88	93/94	空気吹出口	上面		
	非発電時 %	98/98	82/82	配管関係	冷媒ガス管	mm	φ28.58(ろう付)	
	定格暖房標準	発電時 %	91/87	90/94	冷媒液管	mm	φ15.88(ろう付)	
	非発電時 %	98/99	82/82	燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)			
始動電流	A	30/30		排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)		
運転音	SPL (静音モード)	dB (A)	59 (57)		発電機	容量	kW	2.0
	PWL (静音モード)	dB (A)	79 (77)			種類	永久磁石界磁形 三相同期発電機	
臭気触媒	触媒の種類 (貴金属)	酸化触媒(Pt)						
圧縮機	指定冷凍機油	HP-9						
	冷凍機油封入量	L	7.5					
	クランクケースヒーター	W	30					
	台数 (ローター数)	1台(2ローター)						
ドレン用ヒーター	W	40						
送風装置	送風機形式	プロペラファン×2						
風量	送風機定格出力	kW	0.70×2					
塗装色 (マンセル記号)	シルキーエド(1Y8.5/0.5)							

### 《注記》

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

・暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・ 運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・ 期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。



# 仕様

## 標準機

品番			U-GWZ710T1DR			
外形寸法	高さ	mm	2,228			
	幅	mm	1,650			
	奥行	mm	1,000(+80)			
性能	質量	kg	775			
	定格冷房標準能力	kW	71.0			
	中間冷房標準能力	kW	32.2			
	中間冷房中温能力	kW	32.5			
	最小冷房中温能力	kW	18.0			
	定格暖房標準能力	kW	80.0			
	中間暖房標準能力	kW	37.3			
	最小暖房標準能力	kW	20.0			
	最大暖房低温能力	kW	68.0			
	最大暖房極低温能力	kW	54.4			
定格電圧/相数			三相200V	单相200V*		
定格周波数		Hz	50/60			
電気特性	運転電流	定格冷房標準	発電時	A	1.5/1.5	2.8/2.8
		非発電時	A	4.8/4.8	9.7/9.7	
	定格暖房標準	発電時	A	0.6/0.6	0.7/0.7	
		非発電時	A	2.7/2.7	5.4/5.4	
	定格冷房標準	発電時	kW	0.46/0.46	0.46/0.46	
		非発電時	kW	1.57/1.57	1.57/1.57	
	中間冷房標準	発電時	kW	1.29/1.29	1.29/1.29	
		非発電時	kW	1.45/1.45	1.45/1.45	
	中間冷房中温	発電時	kW	0.32/0.32	0.32/0.32	
		非発電時	kW	0.48/0.48	0.48/0.48	
最小冷房中温	発電時	kW	0.26/0.26	0.26/0.26		
	非発電時	kW	0.39/0.39	0.39/0.39		
定格暖房標準	発電時	kW	0.13/0.13	0.13/0.13		
	非発電時	kW	0.88/0.88	0.88/0.88		
中間暖房標準	発電時	kW	0.13/0.13	0.13/0.13		
	非発電時	kW	0.39/0.39	0.39/0.39		
最小暖房標準	発電時	kW	0.26/0.26	0.26/0.26		
	非発電時	kW	0.39/0.39	0.39/0.39		
力率	定格冷房標準	発電時	%	87/91	82/83	
	非発電時	%	95/95	81/81		
定格暖房標準	発電時	%	68/68	91/96		
	非発電時	%	93/94	81/82		
始動電流		A	30/30			
運転音	SPL (静音モード)	dB (A)	63 (61)			
	PWL (静音モード)	dB (A)	83 (80)			
臭気触媒	触媒の種類 (貴金属)	酸化触媒 (Pt)				
圧縮機	指定冷凍機油	HP-9				
	冷凍機油封入量	L	7.5			
	クランクケースヒーター	W	30			
	台数 (ローター数)	1台 (2ローター)				
ドレン用ヒーター		W	40			
ガス種				い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2		
ガス消費量	定格冷房標準	発電時	kW	69.8		
		非発電時	kW	67.0		
	中間冷房標準	発電時	kW	15.2		
		非発電時	kW	14.8		
	中間冷房中温	発電時	kW	12.3		
		非発電時	kW	11.9		
	最小冷房中温	発電時	kW	8.0		
		非発電時	kW	7.6		
	定格暖房標準	発電時	kW	61.9		
		非発電時	kW	60.0		
中間暖房標準	発電時	kW	20.1			
	非発電時	kW	19.4			
最小暖房標準	発電時	kW	11.3			
	非発電時	kW	10.9			
期間成績係数		APFp : 2015	1.97			
期間成績係数		APF : 2006	2.04			
冷暖平均定格		COPp	1.14			
設計圧力	高圧	MPa	3.50			
	低圧	MPa	2.50			
排気量	種類	L	2.488			
	種類	パナソニック純正				
潤滑油	封入量	L	40			
	スターターモーター	DC12V × 2.0kW				
スターター方式		AC/DC変換式DCスターター				
エンジン	種類 × 封入量	L	パナソニック純正 × 25			
	冷却水	濃度・凍結温度	50V/ℓ%・-35°C			
冷却水ポンプ定格出力		kW	0.16			
原動機定格出力		kW	15.7			
冷媒 × 封入量		kg	HFC[R410A] × 11.5			
空気吸込口		正面・背面・側面				
空気吹出口		上面				
配管関係	冷媒ガス管	mm	φ 28.58(ろう付)			
	冷媒液管	mm	φ 15.88(ろう付)			
	燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)				
	排気ドレン口	mm	φ 20(外径φ 25ホース付属) (付属ホース長350mm)			
発電機	容量	kW	2.0			
	種類	永久磁石界磁形 三相同期発電機				
送風装置	送風機形式	プロペラファン × 2				
	送風機定格出力	kW	0.70 × 2			
風量		m <sup>3</sup> /min	400			
塗装色 (マンセル記号) シルキーエド(1Y8.5/0.5)						

### 《注記》

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

\*暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・ 運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・ 期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

# 仕様

## 標準機

品番			U-GWZ710T2DR				
外形寸法	高さ	mm	2,228				
	幅	mm	1,650				
	奥行	mm	1,000(+80)				
性能	質量	kg	775				
	定格冷房標準能力	kW	71.0				
	中間冷房標準能力	kW	32.2				
	中間冷房中温能力	kW	32.5				
	最小冷房中温能力	kW	18.0				
	定格暖房標準能力	kW	80.0				
	中間暖房標準能力	kW	37.3				
	最小暖房標準能力	kW	20.0				
	最大暖房低温能力	kW	78.0				
	最大暖房極低温能力	kW	64.0				
定格電圧/相数			三相200V	单相200V*			
定格周波数		Hz	50/60				
電気特性	運転電流	定格冷房標準	発電時	A	1.5/1.5	2.8/2.8	
			非発電時	A	4.8/4.8	9.7/9.7	
		定格暖房標準	発電時	A	0.6/0.6	0.7/0.7	
			非発電時	A	2.7/2.7	5.4/5.4	
		消費電力	定格冷房標準	発電時	kW	0.46/0.46	0.46/0.46
				非発電時	kW	1.57/1.57	1.57/1.57
	中間冷房標準		発電時	kW	1.29/1.29	1.29/1.29	
			非発電時	kW	1.45/1.45	1.45/1.45	
	中間冷房中温		発電時	kW	0.32/0.32	0.32/0.32	
			非発電時	kW	0.48/0.48	0.48/0.48	
	最小冷房中温		発電時	kW	0.26/0.26	0.26/0.26	
			非発電時	kW	0.39/0.39	0.39/0.39	
	定格暖房標準		発電時	kW	0.13/0.13	0.13/0.13	
			非発電時	kW	0.88/0.88	0.88/0.88	
	中間暖房標準		発電時	kW	0.13/0.13	0.13/0.13	
			非発電時	kW	0.39/0.39	0.39/0.39	
	最小暖房標準	発電時	kW	0.26/0.26	0.26/0.26		
		非発電時	kW	0.39/0.39	0.39/0.39		
力率	定格冷房標準	発電時	%	87/91	82/83		
		非発電時	%	95/95	81/81		
	定格暖房標準	発電時	%	68/68	91/96		
		非発電時	%	93/94	81/82		
始動電流		A	30/30				
運転音	SPL (静音モード)	dB (A)	63 (61)				
	PWL (静音モード)	dB (A)	83 (80)				
臭気触媒	触媒の種類 (貴金属)	酸化触媒 (Pt)					
圧縮機	指定冷凍機油	HP-9					
	冷凍機油封入量	L	7.5				
	クランクケースヒーター	W	30				
	台数 (ローター数)	1台 (2ローター)					
ドレン用ヒーター	W	40					
ガス種	ガス種		い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2				
	定格冷房標準	発電時	kW	69.8			
		非発電時	kW	67.0			
	中間冷房標準	発電時	kW	15.2			
		非発電時	kW	14.8			
	中間冷房中温	発電時	kW	12.3			
		非発電時	kW	11.9			
	最小冷房中温	発電時	kW	8.0			
		非発電時	kW	7.6			
	定格暖房標準	発電時	kW	61.9			
		非発電時	kW	60.0			
	中間暖房標準	発電時	kW	20.1			
		非発電時	kW	19.4			
	最小暖房標準	発電時	kW	11.3			
		非発電時	kW	10.9			
期間成績係数 APFp : 2015		1.97					
期間成績係数 APF : 2006		2.04					
冷暖平均定格 COPp		1.14					
設計圧力	高圧	MPa	3.50				
	低圧	MPa	2.50				
エンジン	排気量	L	2.488				
	潤滑油	種類	パナソニック純正				
		封入量	L	40			
	スターターモーター	DC12V × 2.0kW					
スターター方式	AC/DC変換式DCスターター						
エンジン	種別 × 封入量	L	パナソニック純正 × 25				
	冷却水	濃度・凍結温度	50V/ℓ%・-35℃				
冷却水ポンプ定格出力	kW	0.16					
原動機定格出力	kW	15.7					
冷媒 × 封入量	kg	HFC[R410A] × 11.5					
空気吸込口	正面・背面・側面						
空気吹出口	上面						
配管関係	冷媒ガス管	mm	φ 28.58(ろう付)				
	冷媒液管	mm	φ 15.88(ろう付)				
	燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)					
	排気ドレン口	mm	φ 20(外径φ 25ホース付属) (付属ホース長350mm)				
発電機	容量	kW	2.0				
	種類	永久磁石界磁形 三相同期発電機					
送風装置	送風機形式	プロペラファン × 2					
	送風機定格出力	kW	0.70 × 2				
風量	m <sup>3</sup> /min	400					
塗装色 (マンセル記号) シルキーエド(1Y8.5/0.5)							

### 《注記》

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

\*暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・ 運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・ 期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

# 仕様

## 標準機

品番				U-GWZ850T1DR				
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2		
	幅	mm	2,026					
	奥行	mm	1,000(+80)					
性能	質量	kg	860		ガス消費量	定格冷房標準	発電時 kW	83.5
	定格冷房標準能力	kW	85.0			非発電時 kW	81.4	
	中間冷房標準能力	kW	38.3			中間冷房標準	発電時 kW	19.7
	中間冷房中温能力	kW	38.4			非発電時 kW	19.1	
	最小冷房中温能力	kW	24.5			中間冷房中温	発電時 kW	15.3
	定格暖房標準能力	kW	95.0			非発電時 kW	14.9	
	中間暖房標準能力	kW	44.5			最小冷房中温	発電時 kW	11.8
	最小暖房標準能力	kW	23.8			非発電時 kW	11.4	
	最大暖房低温能力	kW	80.0			定格暖房標準	発電時 kW	74.7
	最大暖房極低温能力	kW	64.6			非発電時 kW	72.6	
定格電圧/相数		三相200V	单相200V <sup>※</sup>		中間暖房標準	発電時 kW	23.2	
定格周波数	Hz	50/60		非発電時 kW	21.6			
電気特性	運転電流	定格冷房標準	発電時 A	2.9/2.9	6.0/6.0	最小暖房標準	発電時 kW	13.5
		非発電時 A	5.3/5.3	11.3/11.3	非発電時 kW	13.1		
	定格暖房標準	発電時 A	2.9/2.9	6.0/6.0	期間成績係数 APFp : 2015	1.91		
		非発電時 A	5.3/5.3	11.4/11.3	期間成績係数 APF : 2006	1.92		
	定格冷房標準	発電時 kW	0.98/0.98	0.98/0.98	冷暖平均定格 COPp	1.10		
		非発電時 kW	1.80/1.80	1.80/1.80	設計圧力 高圧 MPa	3.50		
	中間冷房標準	発電時 kW	1.57/1.57	1.57/1.57	低圧 MPa	2.50		
		非発電時 kW	1.79/1.79	1.79/1.79	排気量	L	2.488	
	中間冷房中温	発電時 kW	0.53/0.53	0.53/0.53	種類	パナソニック純正		
		非発電時 kW	0.70/0.70	0.70/0.70	潤滑油 封入量	L		
最小冷房中温	発電時 kW	0.33/0.33	0.33/0.33	スターターモーター	DC12V×2.0kW			
	非発電時 kW	0.45/0.45	0.45/0.45	スターター方式	AC/DC変換式DCスターター			
定格暖房標準	発電時 kW	0.98/0.98	0.98/0.98	エンジン 種別×封入量	L			
	非発電時 kW	1.80/1.80	1.80/1.80	冷却水 濃度・凍結温度	50V/V%・-35°C			
中間暖房標準	発電時 kW	0.16/0.16	0.16/0.16	冷却水ポンプ定格出力	kW			
	非発電時 kW	0.76/0.76	0.76/0.76	原動機定格出力	kW			
最小暖房標準	発電時 kW	0.41/0.41	0.41/0.41	冷媒×封入量	kg			
	非発電時 kW	0.54/0.54	0.54/0.54	空気吸込口	正面・背面・側面			
力率	定格冷房標準	発電時 %	98/98	82/82	空気吹出口	上面		
	非発電時 %	98/98	80/80	冷媒ガス管	mm	φ31.75(ろう付)		
定格暖房標準	発電時 %	98/98	82/82	冷媒液管	mm	φ19.05(ろう付)		
	非発電時 %	98/98	79/80	燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)			
始動電流	A	30/30		配管関係	排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)	
運転音	SPL (静音モード) dB(A)	65(63)		発電機	容量	kW		
	PWL (静音モード) dB(A)	84(82)			種類	永久磁石界磁形 三相同期発電機		
臭気触媒	触媒の種類 (貴金属)	酸化触媒(Pt)		送風装置	送風機形式	プロペラファン×2		
圧縮機	指定冷凍機油	HP-9			送風機定格出力	kW		
	冷凍機油封入量	L	7.5		風量	m <sup>3</sup> /min	460	
	クランクケースヒーター	W	30		塗装色 (マンセル記号)	シルキーエド(1Y8.5/0.5)		
台数 (ローター数)		1台(2ローター)		ドレン用ヒーター	W	40		

### 《注記》

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

・暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・ 運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・ 期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

# 仕様

## 標準機

品番				U-GWZ850T2DR					
外形寸法	高さ	mm	2,228		ガス種	い号プロパン,13A, ろ号プロパン,12A1,12A2			
	幅	mm	2,026						
	奥行	mm	1,000(+80)						
性能	質量	kg	860		ガス消費量	定格冷房標準	発電時 kW	83.5	
	定格冷房標準能力	kW	85.0			非発電時 kW	81.4		
	中間冷房標準能力	kW	38.3			中間冷房標準	発電時 kW	19.7	
	中間冷房中温能力	kW	38.4			非発電時 kW	19.1		
	最小冷房中温能力	kW	24.5			中間冷房中温	発電時 kW	15.3	
	定格暖房標準能力	kW	95.0			非発電時 kW	14.9		
	中間暖房標準能力	kW	44.5			最小冷房中温	発電時 kW	11.8	
	最小暖房標準能力	kW	23.8			非発電時 kW	11.4		
	最大暖房低温能力	kW	90.0			定格暖房標準	発電時 kW	74.7	
	最大暖房極低温能力	kW	70.0			非発電時 kW	72.6		
定格電圧/相数		三相200V	单相200V*		中間暖房標準	発電時 kW	23.2		
定格周波数	Hz	50/60		非発電時 kW	21.6				
電気特性	運転電流	定格冷房標準	発電時 A	2.9/2.9	6.0/6.0		期間成績係数 APFp : 2015	1.91	
		非発電時 A	5.3/5.3		11.3/11.3			期間成績係数 APF : 2006	1.92
	定格暖房標準	発電時 A	2.9/2.9		6.0/6.0		冷暖平均定格 COPp		1.10
		非発電時 A	5.3/5.3		11.4/11.3			設計圧力	高压 MPa
	定格冷房標準	発電時 kW	0.98/0.98	0.98/0.98		低压 MPa	2.50		
		非発電時 kW	1.80/1.80		1.80/1.80		排気量	L	2.488
	中間冷房標準	発電時 kW	1.57/1.57	1.57/1.57		潤滑油		種類	パナソニック純正
		非発電時 kW	1.79/1.79		1.79/1.79		封入量	L	
	中間冷房中温	発電時 kW	0.53/0.53	0.53/0.53		スターターモーター	DC12V×2.0kW		
		非発電時 kW	0.70/0.70		0.70/0.70		スターター方式	AC/DC変換式DCスターター	
最小冷房中温	発電時 kW	0.33/0.33	0.33/0.33		エンジン	種別×封入量	L		
	非発電時 kW	0.45/0.45		0.45/0.45		冷却水	濃度・凍結温度	50V/V%・-35°C	
定格暖房標準	発電時 kW	0.98/0.98	0.98/0.98		冷却水ポンプ定格出力	kW			
	非発電時 kW	1.80/1.80		1.80/1.80		原動機定格出力	kW		
中間暖房標準	発電時 kW	0.16/0.16	0.16/0.16		冷媒×封入量	kg			
	非発電時 kW	0.76/0.76		0.76/0.76		空気吸込口	正面・背面・側面		
最小暖房標準	発電時 kW	0.41/0.41	0.41/0.41		空気吹出口	上面			
	非発電時 kW	0.54/0.54		0.54/0.54		配管関係	冷媒ガス管	mm	φ31.75(ろう付)
力率	定格冷房標準	発電時 %	98/98		冷媒液管		mm	φ19.05(ろう付)	
	非発電時 %	98/98		80/80		燃料ガス配管口	R3/4(オネジ)		
定格暖房標準	発電時 %	98/98		82/82		排気ドレン口	mm	φ20(外径φ25ホース付属) (付属ホース長350mm)	
	非発電時 %	98/98		79/80		発電機	容量	kW	
始動電流	A	30/30		種類	永久磁石界磁形 三相同期発電機				
運転音	SPL (静音モード)	dB(A)	65(63)		送風装置	送風機形式	プロペラファン×2		
	PWL (静音モード)	dB(A)	84(82)			送風機定格出力	kW		
臭気触媒	触媒の種類 (貴金属)	酸化触媒(Pt)			風量	m <sup>3</sup> /min	460		
圧縮機	指定冷凍機油		HP-9		塗装色 (マンセル記号)	シルキーエド(1Y8.5/0.5)			
	冷凍機油封入量	L	7.5		ドレン用ヒーター	W	40		
	クランクケースヒーター	W	30						
	台数 (ローター数)		1台(2ローター)						

### 《注記》

1. 定格冷房標準能力および定格暖房標準能力は、JIS B 8627:2015に基づいて運転した場合の値です。

運転条件	定格/中間冷房標準	中間/最小冷房中温	定格/中間/最小暖房標準	最大暖房低温	最大暖房極低温
室内側吸込空気温度	27°CDB・19°CWB	27°CDB・19°CWB	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)	20°CDB・15°CWB(最高)
室外側吸込空気温度	35°CDB・24°CWB	29°CDB・19°CWB	7°CDB・6°CWB	2°CDB・1°CWB	-7°CDB・-8°CWB

\*暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度-20°CDB・-21°CWB以上です。

2. 燃料消費量は、総(高位)発熱量基準です。

3. GHPの性能測定は、JIS B 8627:2015に基づいています。これに伴い、

・運転音値は、音圧レベル(SPL)から音響パワーレベル(PWL)に定義変更されております。音響パワーレベルは、機器本体の発生する側の運転音値です。従来の音圧レベルは聞く側の運転音値であり、音響パワーレベルは音源側の運転音値のため音圧レベルよりも数値が大きくなります。音圧と音響は、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

・期間成績係数は、APFからAPFp(pは一次エネルギーの意味)に定義変更されております。APFpは、従来APFに比べさらに部分負荷を考慮した、より実際の運転実態に則した性能指標です。APFとAPFpは、指標の意味が異なることから数値比較ができません。

4. 表中では、50/60Hzでの値を表します。その他は50Hz・60Hz共通です。

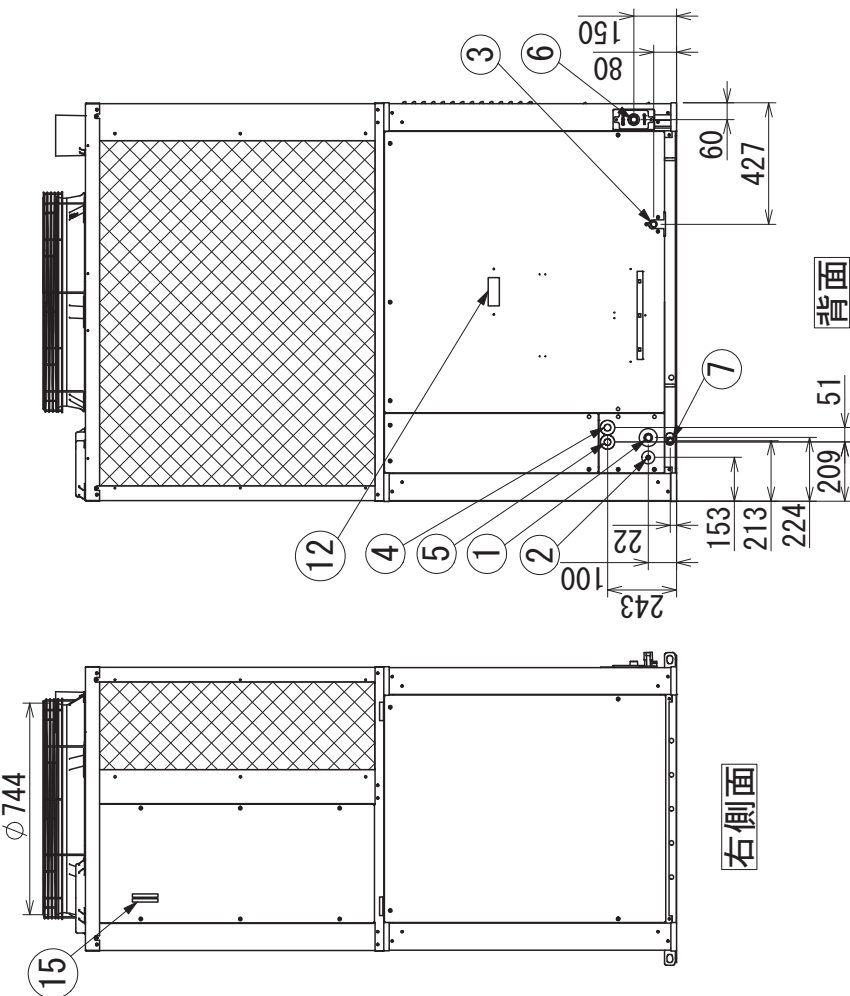
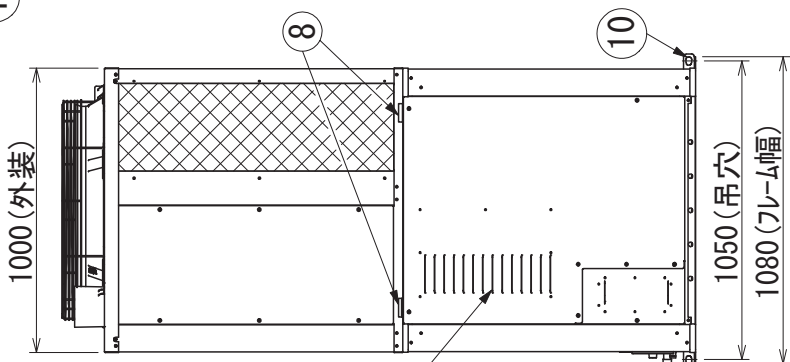
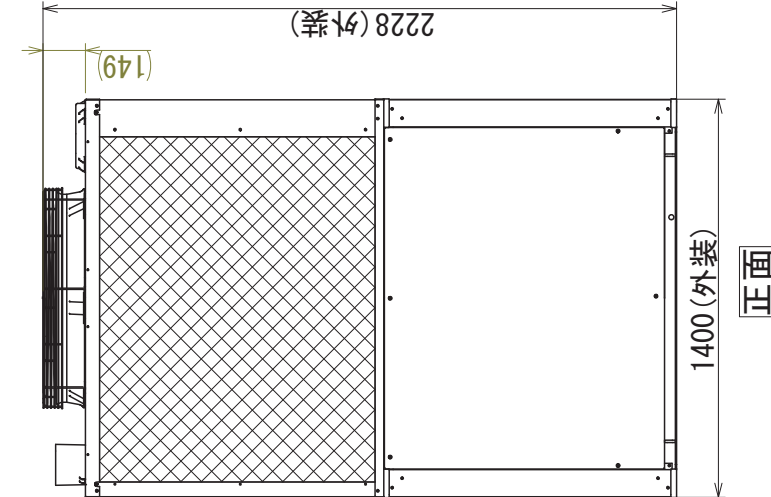
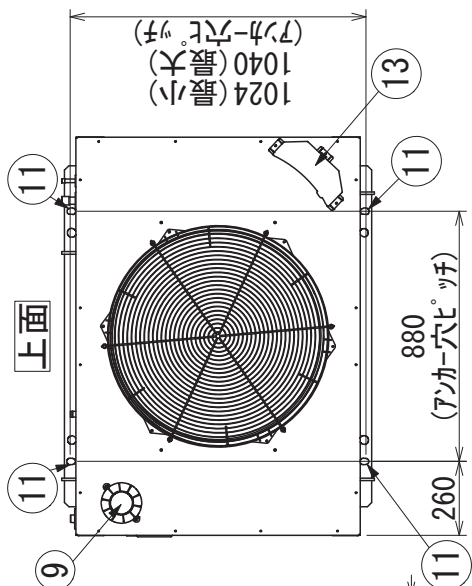
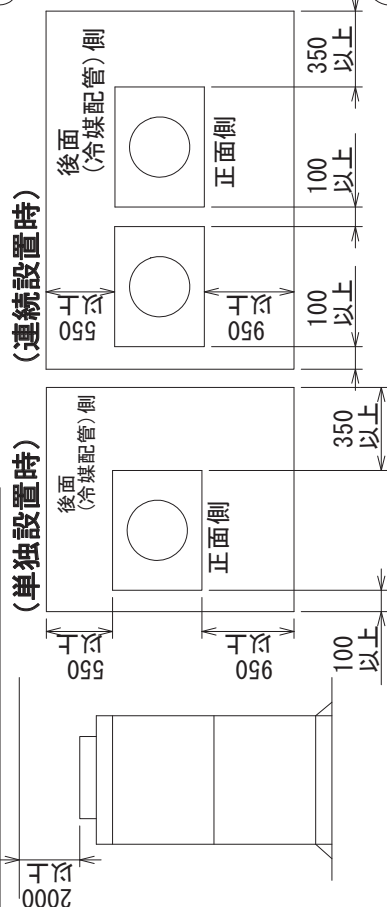
5. 仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

6. 冷暖平均定格COPpは、一次エネルギー換算した成績係数(定格能力/エネルギー消費量)を表しています。

# 外形寸法図

形式	224形	280形	355形
① 冷媒配管(ガス管)	φ19.05	φ22.22	φ25.4
② 冷媒配管(液管)	φ9.52	φ12.7	φ12.7
③ 排気カストレホース	外径: φ25ホース接続		
④ 電源引込口	φ28		
⑤ エア配管線引込口	φ28		
⑥ 燃料カストレ	G: R3/4		
⑦ 凝縮ドレン口	φ20		
⑧ 雨水・凝縮水出口			
⑨ 排気出口			
⑩ アカー用穴4-22×30長穴			
⑪ アカー用穴4-22×30長穴			
⑫ 7セグメント表示			
⑬ 冷却水注入口フタ			
⑭ 吸気口			
⑮ 冷却水レベル			

## 設置上のサービススペース



品名

外形寸法図

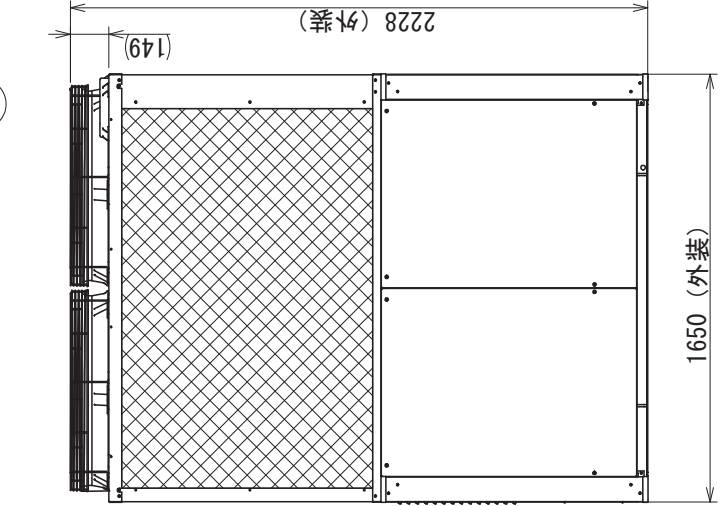
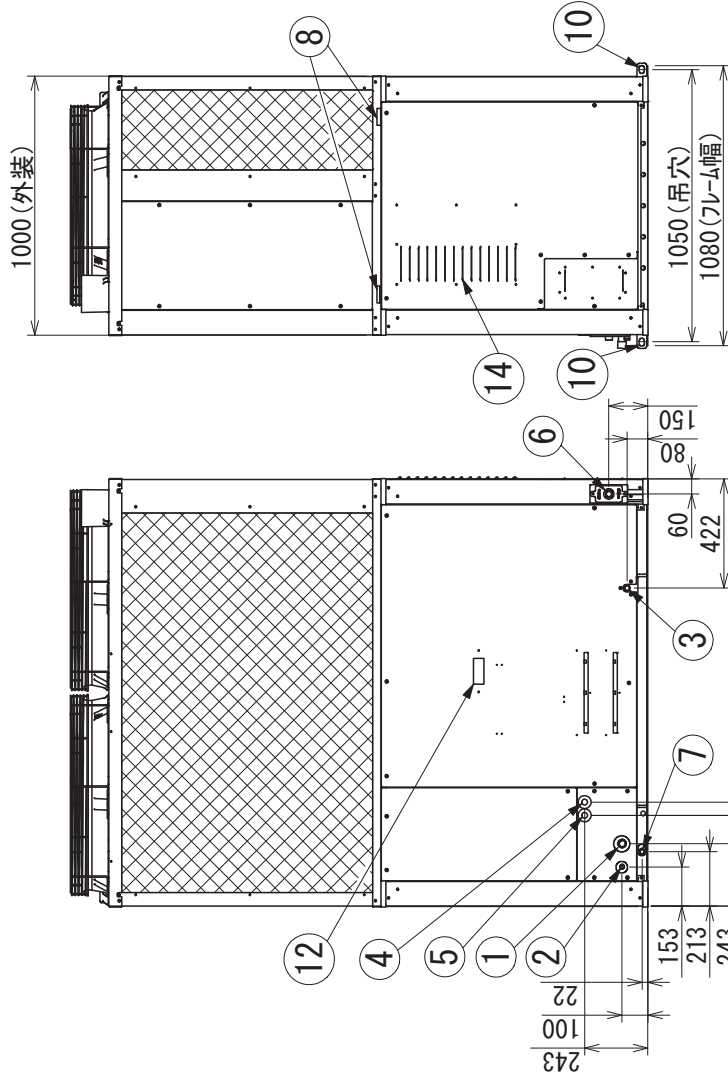
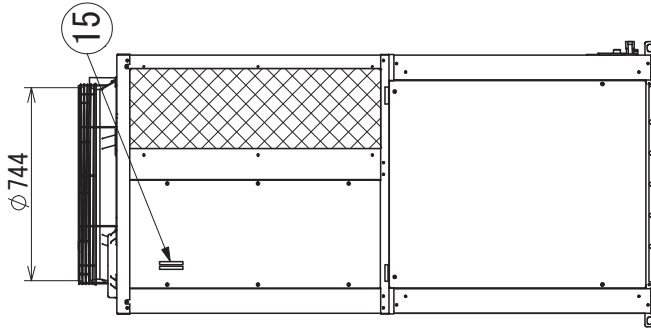
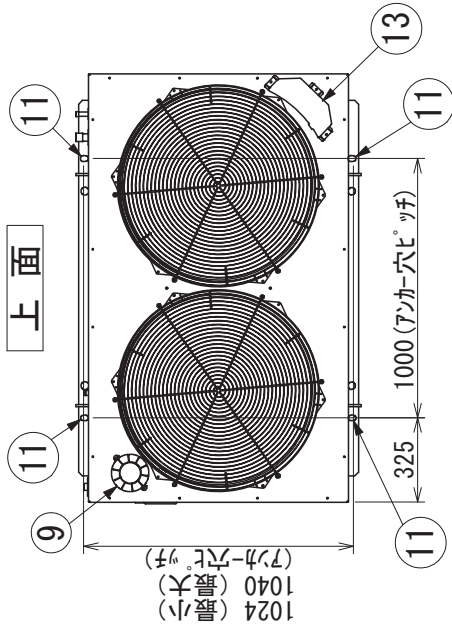
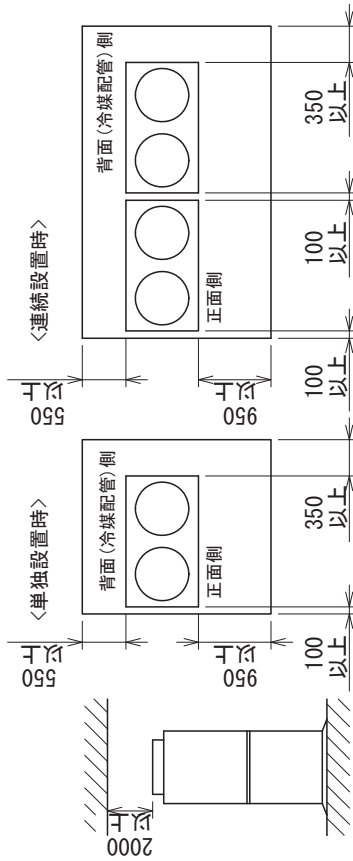
尺度

Free

# 外形寸法図

形式	寸法単位 (mm)	
	450形	560形
① 冷媒配管(ガス管)	φ28.58	φ28
② 冷媒配管(液管)	φ12.7 / φ15.88	φ12.7 / φ15.88
③ 排気ガス・ドレン口	外径: φ25 ホース接続	φ25
④ 電源引込口	φ28	φ28
⑤ エレクトロニクス配線引込口	φ28	φ28
⑥ 燃料ガス口	G: R3/4	G: R3/4
⑦ 凝縮ドレン口	φ20	φ20
⑧ 雨水・凝縮水出口		
⑨ 排気出口		
⑩ 吊穴 4-φ20×30 長穴		
⑪ アカー用穴 4-22×30 長穴		
⑫ 7セグメント表示		
⑬ 冷却水注入口/フタ		
⑭ 吸気口		
⑮ 冷却水レベル		

設置上のサービススペース 単位(mm)



右側面

正面

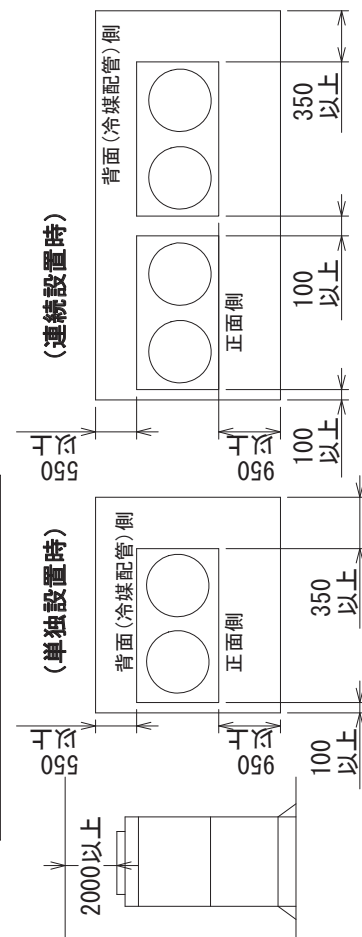
左側面

後面

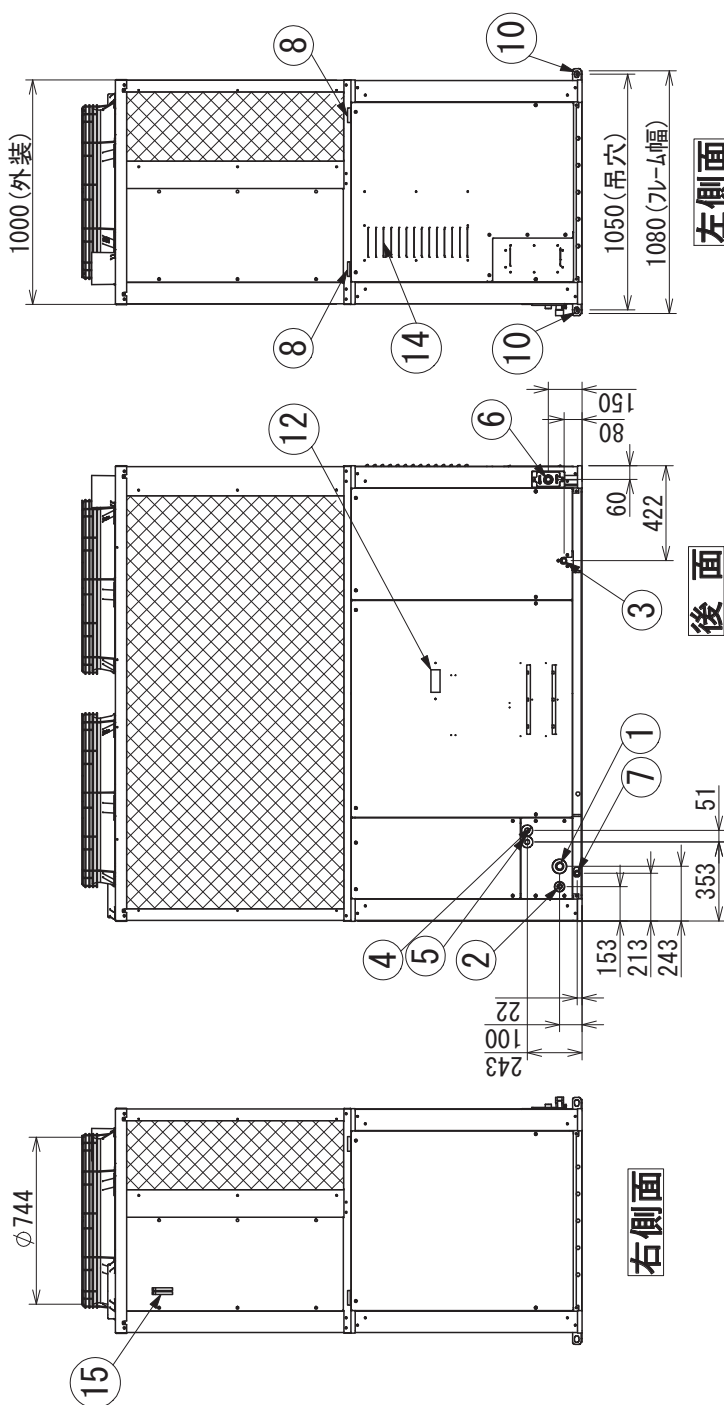
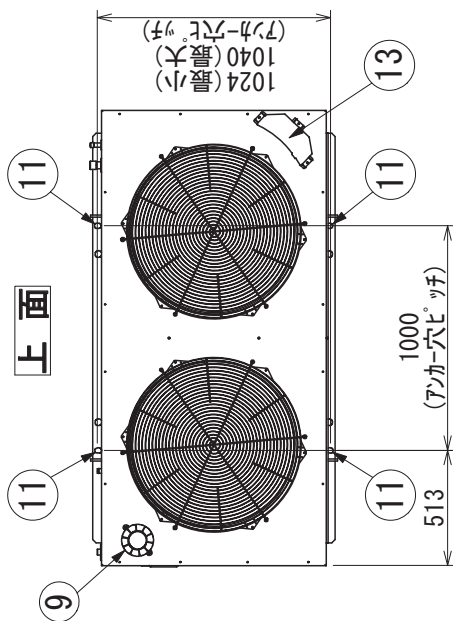
品名	外形寸法図	尺度	Free
----	-------	----	------

# 外形寸法図

## 設置上のサービスペース 単位 (mm)



寸法単位 (mm)	
① 冷媒配管(ガス管)	φ31.75
② 冷媒配管(液管)	φ19.05
③ 排気ガスレトリ	外径: φ25 ホース接続
④ 電源引込口	φ28
⑤ ユニツト間配線引込口	φ28
⑥ 燃料ガス口	R3/4
⑦ 凝縮レトリ	φ20
⑧ 雨水・凝縮水出口	
⑨ 排気出口	
⑩ 吊穴4-φ20×30長穴	
⑪ フリカー用穴4-φ22×30長穴	
⑫ 7セグメント表示	
⑬ 冷却水注入口フタ	
⑭ 吸気口	
⑮ 冷却水レベル	

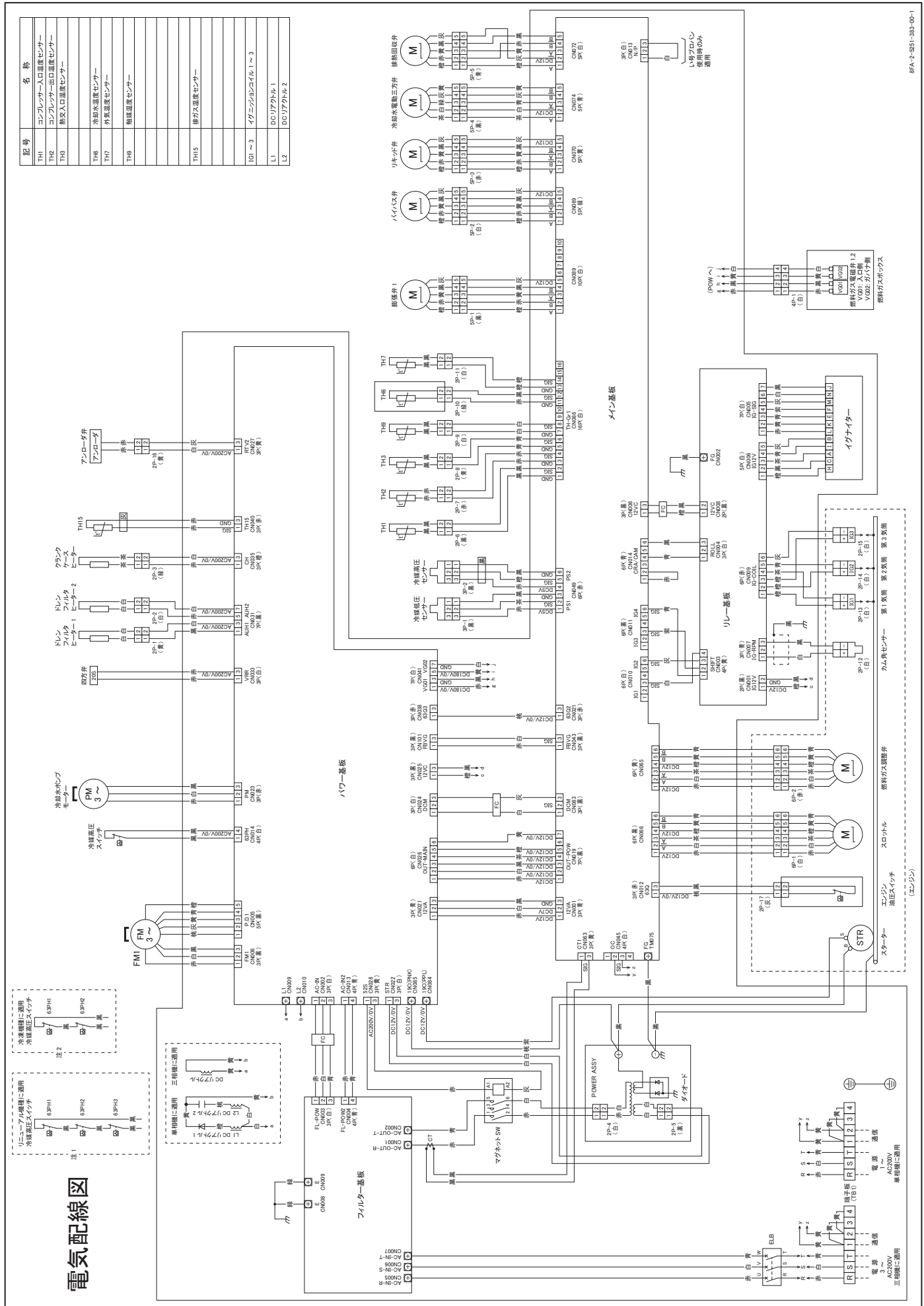


品名	外形寸法図	尺度	Free
----	-------	----	------

# 電気回路図

224・280・355 形

記号	名称
TH1	コンプレッサー入口温度センサー
TH2	コンプレッサー出口温度センサー
TH3	熱交換入口温度センサー
TH6	冷却水温度センサー
TH7	外気温度センサー
TH9	融霜温度センサー
TH15	排ガス温度センサー
101~3	イグニッションコイル1~3
L1	DC177V用L1
L2	DC177V用L2

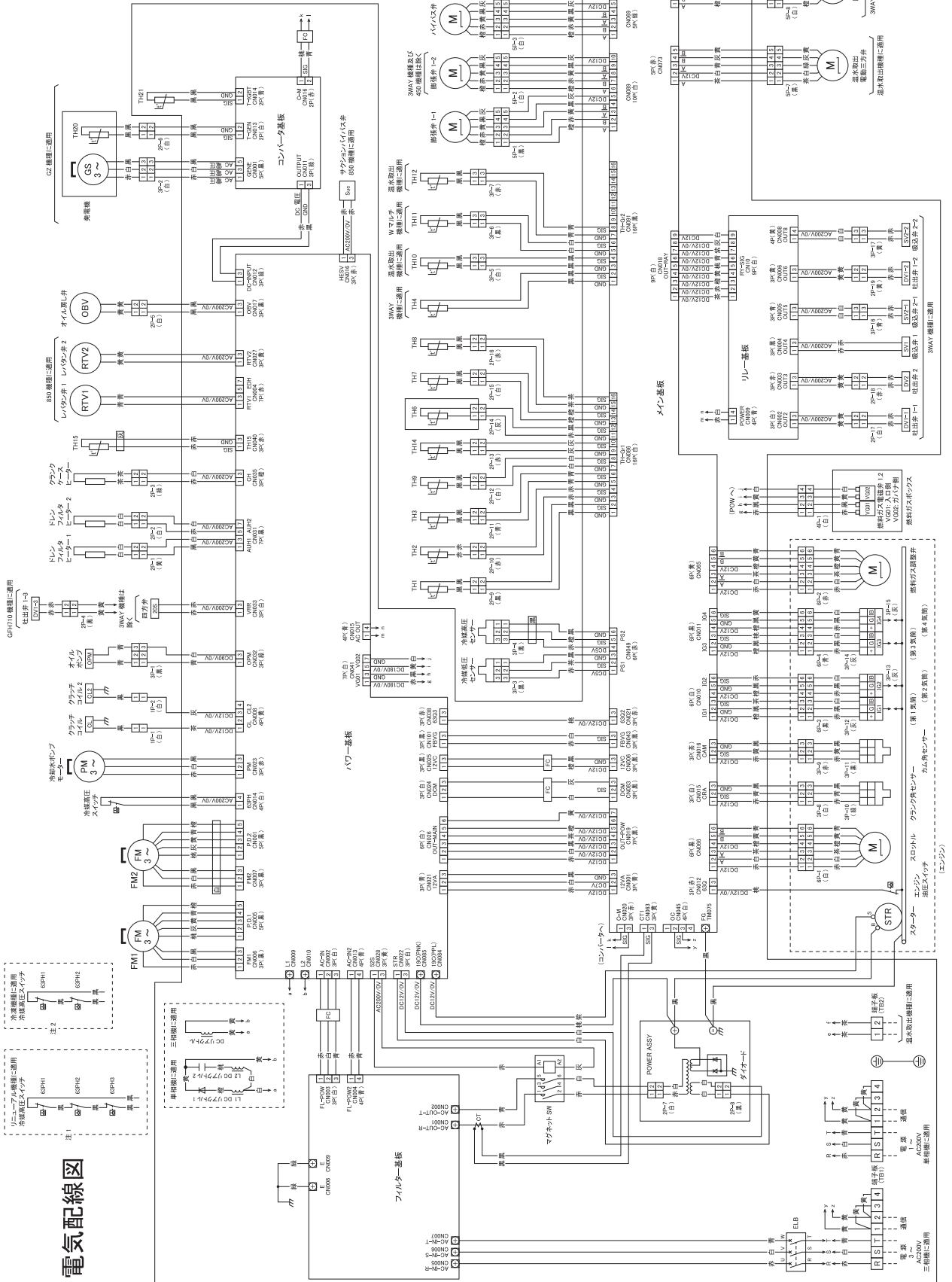




# 電気回路図

## 450・560・710・850形

記号	名称
TH1	コンプレッサー入口温度センサー
TH2	コンプレッサー出口温度センサー
TH4	蒸気入口温度センサー
TH6	外気温度センサー
TH7	外気湿度センサー
TH8	ファンアイル温度センサー
TH9	熱線温度センサー
TH10	蒸気出口温度センサー
TH11	蒸気入口温度センサー
TH12	蒸気入口温度センサー
TH14	ファンアイル温度センサー-2
TH15	蒸気入口温度センサー
TH20	蒸気湿度センサー
TH21	蒸気湿度センサー
BD1~4	イグニッションコイル1~4
L1	DOリフカド1
L2	DOリフカド2



### 電気配線図

## 付属品

---

- 保証書
- 取扱説明書
- お客様ご相談窓口
- 据付工事説明書 ( 据付編 )
- 据付工事説明書 ( 電気工事編 )
- 据付工事説明書 ( 試運転編 )
- 警戒標
- フロンの見える化 記入・貼付方
- 冷媒配管長と追加充填量等の記入ラベル
- 記入ラベル保護用シール
- 手元電源スイッチラベル
- 排気ドレンホース
- リモコン裏注意ラベル【W マルチ、W マルチハイパワー機種】
- 洗浄レスリニューアル手順【リニューアル専用機種】

# 納入範囲

## 1. 本体

### (1) 室外ユニット

U- \_\_\_\_\_ 台

### (3) リモコン

CZ- \_\_\_\_\_ 台

### (2) 室内ユニット

S- \_\_\_\_\_ 台

S- \_\_\_\_\_ 台

S- \_\_\_\_\_ 台

S- \_\_\_\_\_ 台

S- \_\_\_\_\_ 台

S- \_\_\_\_\_ 台

S- \_\_\_\_\_ 台

S- \_\_\_\_\_ 台

S- \_\_\_\_\_ 台

S- \_\_\_\_\_ 台

### (4) パネル

\_\_\_\_\_ 台

\_\_\_\_\_ 台

\_\_\_\_\_ 台

\_\_\_\_\_ 台

\_\_\_\_\_ 台

\_\_\_\_\_ 台

## 2. オプション

\_\_\_\_\_ 台

\_\_\_\_\_ 台

\_\_\_\_\_ 台

\_\_\_\_\_ 台

\_\_\_\_\_ 台

\_\_\_\_\_ 台

## 3. 納入範囲表

○納入範囲

×納入範囲外

項目	納入	備考	項目	納入	備考
立会検査	×		冷媒配管 ガス漏れ検査	×	窒素ガスにて、3.30MPaの圧力をかけて漏れ試験を行ってください。
建物および基礎	×	防振マット類も納入範囲外となります。			
荷造運搬	○	車上渡しとします。	保温保冷工事	×	
現場内小運搬	×	車上から基礎上までは貴社にてお願いいたします。	冷媒配管 真空引き	×	室内ユニットおよび配管内を667Pa (-755mmHg, 5Torr) 以下に真空引きを行ってください。
据付	×		冷媒追加 チャージ	×	接続する配管サイズと長さに応じて冷媒 (R410A) を追加してください。
養生	×				
冷媒配管工事	×	室外ユニットと室内ユニット間の冷媒配管をお願いいたします。	荷造残材等の処理	×	
電気配線工事	×	室外ユニットと室内ユニットのわたり線および電源接続をお願いいたします。	現地試運転調整	○	試運転調整に必要とする電気・水・燃料は無償で供給願います。
			運転指示	○	試運転時に行います。

## 4. 保証期間

機器の保証期間は、試運転引渡完了日より1か年。ただし、エンジン本体および定期点検交換部品については、試運転引渡完了日より1か年または、運転時間 2,000 時間の短い方の期間となります。

(定期交換部品は、取扱説明書に記載。)

# 耐塩害仕様

(1) 耐塩害仕様室外機は、日本冷凍空調工業会標準規格 JRA9002-1991(空調機器の耐塩害試験基準)に基づいています。

(2) 「JRA 耐塩害仕様」・「JRA 耐重塩害仕様」の選定の目安

標準仕様は亜鉛被膜による防食性を有し、塗料との密着性を改善した溶融亜鉛メッキ鋼板(亜鉛鉄板)の使用等により、すぐれた耐食性を発揮します。

しかし、設置場所の多様化に伴い標準仕様のままでの対応の難しいケースも増えています。

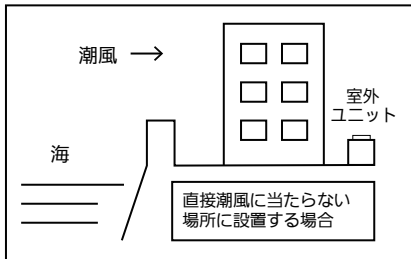
このため次のような設置場所で使用する場合には、さらに耐食性を向上させた「JRA 耐塩害仕様」又は「JRA 耐重塩害仕様」をご使用ください。

<設置場所>

- ① 海岸線に隣接し、塩害を受けやすい場所
- ② 海岸線の工業地帯で塩害や煙害を受けやすい場所
- ③ 工業地帯ではないがゴミ焼却炉等の煙害を受けやすい場所
- ④ 交通渋滞地域で排気ガスの影響を受けやすい場所
- ⑤ 温泉地帯の硫化ガスの多い場所
- ⑥ 燃焼器の排気を吸込む場所

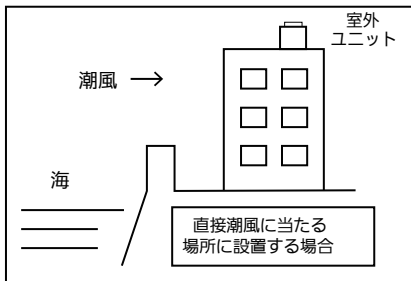
● JRA9002 では適用の方法として下記の様に記載されています。

「JRA 耐塩害仕様」適用：潮風にはかからないがその雰囲気にあるような場所に設置する。



	海岸からの距離目安			備考
	300m	500m	1000m	
内海に面する地域	耐塩害仕様	耐塩害仕様	耐塩害仕様	瀬戸内海
外海に面する地域	耐重塩害仕様	耐重塩害仕様	耐塩害仕様	
沖縄・離島	耐重塩害仕様	耐重塩害仕様	耐塩害仕様	

「JRA 耐重塩害仕様」適用：潮風の影響を受ける場所に設置する。



	海岸からの距離目安			備考
	300m	500m	1000m	
内海に面する地域	耐重塩害仕様	耐重塩害仕様	耐塩害仕様	瀬戸内海
外海に面する地域	耐重塩害仕様	耐重塩害仕様	耐塩害仕様	
沖縄・離島	耐重塩害仕様	耐重塩害仕様	耐塩害仕様	

# 耐塩害仕様

## (3) 空調機器の耐塩害試験基準（JRA9002）について

### <適用範囲>

JRA9002(空調機器の耐塩害試験基準)は、室外に設置される空調機器の外郭を構成する部品の金属素地上、主として防食及び装飾の目的で塗装する部品の塗膜の試験方法について規定しています。

### <試験項目と試験時間>

(単位：時間)

	試験項目	耐食性	耐湿性	促進耐候性
試験時間	JRA耐塩害仕様	480	360	500
	JRA耐重塩害仕様	960	720	500
備考	標準品	240	240	300

\*評価基準詳細については JRA9002-1991 を参照してください。

### <据付上のご注意>

本仕様品を使用した場合でも、発錆に対して万全ではありません。

機器の設置やメンテナンスに際しては、下記の点に留意してください。

JRA9002にも記載されておりますが、本仕様品を使用された場合でも下記のような配慮が必要です。

- ①海水飛沫及び塩風に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置すること。  
(波しぶき等が直接かかる場所への設置は避ける。)
- ②外装パネルに付着した海塩粒子が雨水によって充分洗浄されるように配慮（例えば室外ユニットには日除け等を取り付けない）すること。
- ③室外ユニット底板内への水の滞留は著しく腐食作用を促進させるため、底板内の水抜け性を損なわないように傾き等に注意すること。
- ④海岸地帯の据付品については、付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行うこと。
- ⑤据え付け、メンテナンス等に付いた傷は補修すること。
- ⑥機器の状態を定期的に点検すること。(必要に応じて再防錆処置や部品交換等を実施する。)
- ⑦基礎部分の排水性を確保すること。

## (4) 耐塩害仕様機種は次のラベルを貼付しています

JRA 耐塩害仕様機種ラベル

J R A 耐塩害仕様

JRA 耐重塩害仕様機種ラベル

J R A 耐重塩害仕様

# 耐塩害仕様

(5) 室外ユニット耐塩害仕様表面処理一覧

部品名称	素材	標準仕様		
		塩害仕様	重塩害仕様	
外装・枠組	外装パネル	溶融亜鉛メッキ鋼板	ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 40 μm 以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80 μm 以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 120 μm 以上
	ドレンパン	溶融亜鉛メッキ鋼板	ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80 μm 以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80 μm 以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 120 μm 以上
	底フレーム	熱間圧延鋼板	ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80 μm 以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80 μm 以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 120 μm 以上
	コーナーパネル	アルミニウム	アルマイト処理	
			アルマイト処理	
			アルマイト処理	
	センター支柱・中枠	溶融亜鉛メッキ鋼板	処理なし	
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80 μm 以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 120 μm 以上
固定金具	溶融亜鉛メッキ鋼板	処理なし		
		ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80 μm 以上	
		ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80 μm 以上	
送風機	ファンガード	鉄線	ポリエチレンコーティング	
			ポリエチレンコーティング	
			ポリエチレンコーティング	
	プロペラファン	樹脂 (本体、ボス部キャップ アルミ (ボス部))	処理なし	
			処理なし	
			シリコンコーティング (ボス部キャップ周り)	
	モーター		処理なし	
			処理なし	
			処理なし	
	モーター取付脚	機械構造用炭素鋼鋼管	ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 15 μm 以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80 μm 以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 120 μm 以上
熱交換器	フィン	アルミニウム	プレコート処理	
			プレコート処理	
			プレコート処理+ジンクリッチ処理	膜厚 20 μm 以上
	管	銅	処理なし	
			ジンクリッチ塗装 (ろう付部側)	膜厚 20 μm 以上
			ジンクリッチ塗装 (全体)	膜厚 20 μm 以上
	管板	高耐食溶融メッキ鋼板	処理なし	
			ジンクリッチ塗装 (ろう付部側)	膜厚 20 μm 以上
			ジンクリッチ塗装 (全体)	膜厚 20 μm 以上

# 耐塩害仕様

部品名称		素材	標準仕様	
			塩害仕様	
			重塩害仕様	
電装	電装箱	溶融亜鉛メッキ鋼板	処理なし	
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80 μ m 以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80 μ m 以上
電装	プリント基板		防湿剤塗布	
			防湿剤塗布	
			防湿剤塗布	
アキュムレータ		鋼板	カチオン電着塗装またはポリエステル粉体焼付 膜厚 80 μ m 以上 塗装	
			カチオン電着塗装またはポリエステル粉体焼付 膜厚 80 μ m 以上 塗装	
			カチオン電着塗装またはポリエステル粉体焼付 膜厚 80 μ m 以上 塗装	
配管	ろう付け部	銅管・鉄管	処理なし（銅管）、ジンクリッチ塗装（鉄管） 膜厚 20 μ m 以上	
			標準+ジンクリッチ塗装（2 F側）	膜厚 20 μ m 以上
			標準+ジンクリッチ塗装（2 F側）	膜厚 20 μ m 以上
配管	表面部	銅管	処理なし	
			処理なし	
			ジンクリッチ塗装（2 F側）	膜厚 20 μ m 以上
ネジ・留具類	内装（1 F側）	鉄・ステンレス	処理なし (SUS30*)、金属フレーク系表面処理またはクロメート処理 (SUS410・鉄)	
			処理なし (SUS30*)、金属フレーク系表面処理またはクロメート処理 (SUS410・鉄)	
			処理なし (SUS30*)、金属フレーク系表面処理またはクロメート処理 (SUS410・鉄)	
ネジ・留具類	内装（2 F側）	鉄・ステンレス	処理なし (SUS30*)、金属フレーク系表面処理 (SUS410・鉄)	
			処理なし (SUS30*)、金属フレーク系表面処理 (SUS410・鉄)	
			塩害+ウレタン塗装	膜厚 20 μ m 以上
ネジ・留具類	外装	鉄・ステンレス	金属フレーク系表面処理	
			標準+ウレタン塗装	膜厚 20 μ m 以上
			標準+ウレタン塗装	膜厚 20 μ m 以上

## 別売部品一覧

品名	品番
分岐管セット	APR-RP160B APR-RP680B SGP-PCH1400K
ヘッダー配管セット	SGP-HCH280M SGP-HCH280K SGP-HCH560K
外付電動弁キット	ATK-SVRK36B ATK-SVRK56BN ATK-SVRK160B
排気延長キット	SGP-PEX560K
ガス管弁キット	ATK-RX160A
単相キット	ACC-BM2M1-56



# 関連法規

★ガス消費量が70kW以上のヒートポンプ冷暖房機は、消防法（火災予防条例）により、消防署長へ「火気使用設備等の設置届」（名称は自治体により異なります）の届出が義務付けられています。

< 火災予防条例（東京都の場合） >

第五十七条 火を使用する設備又はその使用に際し、火災の発生のおそれのある設備（以下「火気使用設備等」という。）のうちに掲げるものを設置しようとする者（内容を変更しようとする者を含む。）は、**当該工事に着手する日の七日前までに、規則で定めるところによりその旨を消防署長に届け出なければならない。**

- 一 固体燃料を使用する炉
  - 二 前号に掲げるもののほか、据付け面積一平方メートル以上の炉
  - 三 厨房設備（入力の合計が百二十キロワット未満のもの（排気取入口から下方に排気する方式の厨房設備を除く。）を除く。）
  - 四 温風暖房機（風道を使用しない温風暖房機にあつては、入力が七十キロワット未満のものを除く。）及び壁付き暖炉
  - 五 **ヒートポンプ冷暖房機（入力が七十キロワット未満のものを除く。）**
  - 六 ボイラー（ボイラー及び圧力容器安全規則（昭和四十七年労働省令第三十三号）第三条に定めるボイラー及び入力が七十キロワット未満のものを除く。）
  - 七 乾燥設備（入力が十七キロワット未満のもの又は乾燥物収容室の据付け面積が一平方メートル未満のもの若しくは乾燥物収容室の内部容積が一立方メートル未満のものを除く。）
  - 八 サウナ設備
  - 九 給湯湯沸設備（入力七十キロワット未満のものを除く。）
  - 十 燃料電池発電設備（第八条の三第二項又は第四項に定めるものを除く。）
  - 十一 火花を生ずる設備
  - 十二 放電加工機
  - 十三 高圧又は特別高圧の変電設備
  - 十四 内燃機関を原動力とする発電設備（第十二条第三項に定めるものを除く。）
  - 十五 蓄電池設備
  - 十六 設備容量二キロボルトアンペア以上のネオン管灯設備
  - 十七 水素ガスを充てんする気球
- 2 前項の規定による届出には、**火気使用設備等の位置、構造、性能その他火災予防上必要な事項を記載した図書で規則で定めるものを添付しなければならない。**
- 3 消防署長は、第一項の規定による届出があつたときは、その内容がこの条例に定める火気使用設備等の位置、構造及び管理の基準に適合しているかどうかを**審査するものとする。**
- 4 第一項各号に掲げる火気使用設備等を使用しようとする者は、**当該火気使用設備等の使用開始前に消防署長の検査を受けなければならない。**

（昭四七条例六四・昭四八条例八二・昭五〇条例四五・昭五五条例六四・昭五九条例一一四・平四条例一一六・平九条例四五・平一一条例七一・平一四条例一五七・平一七条例一二七・一部改正）

（少量危険物貯蔵取扱所等の届出等）